

リファレンスガイド オプション装置編

ApeosPro C810

ApeosPro C750

ApeosPro C650

Contents

1	大容量給紙トレイB1	4
2	大容量給紙トレイB1-S/C3-DS	9
3	インターフェイスデカーラー	25
4	インターポーター	29
5	大容量スタッカー	34
6	天地トリマークリーサー	42
7	紙折りユニット	52
8	フィニッシャーC	55
9	フィニッシャーD	66
10	小口トリマーフォルダー	84

はじめに

フィニッシャーなどのオプション装置の操作を記載しています。

6.0 参照

- 次のオプション商品は、記載箇所が異なります。
 - オフセットキャッチトレイ、シンプルキャッチトレイ：『リファレンスガイド 本体編』
 - 無線キット、プリント/スキャン/ファクス機能の関連商品：『リファレンスガイド 操作編』
 - プリントサーバーと関連商品：商品に同梱されているマニュアル
 - 顔認証システム、指静脈認証システム、IC カードリーダー：弊社公式サイト

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

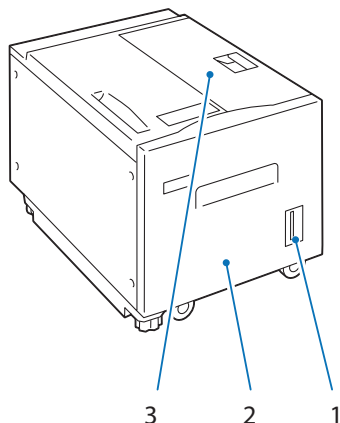
このマニュアルのなかで  注意事項と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

本書の表記、商標については、『リファレンスガイド 本体編』を参照してください。

このマニュアルで記載されている給紙容量などの記載は、弊社J紙（82 g/m²）を使用したときの値です。

1 大容量給紙トレイB1

■各部の名称と働き



No.	名称	説明
1	残量表示	用紙の残量を確認できます。
2	大容量トレイ（用紙トレイ6）	用紙をセットします。
3	上面カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

■主な仕様

項目	仕様
用紙サイズ	A4 ¹⁾ 、レター（8.5×11"） ²⁾ 、JIS B5 ³⁾ 、7.25×10.5"（184×267 mm） ⁴⁾
用紙坪量（g/m ² ）	52～220
トレイ容量（枚）	2,100
大きさ（mm）	幅389×奥行610×高さ377
質量（kg）	29

用紙のセット

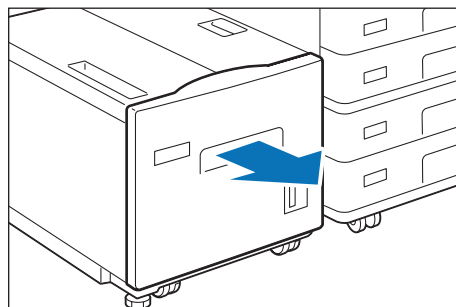
用紙をセットしたときは、ホーム画面で用紙トレイの設定をします。

68 参照

詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「セットアップ」を参照してください。

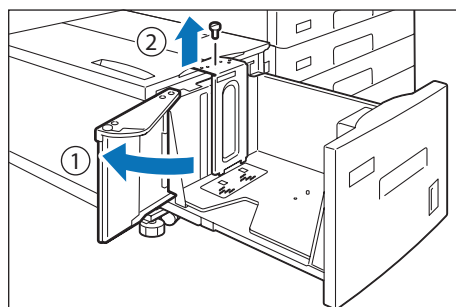
セットした用紙の上面が印字面になります。

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

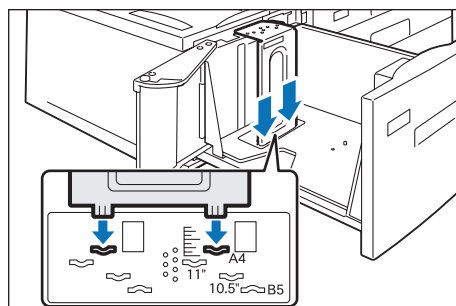


3. 用紙サイズを変更する場合は、ガイドの位置を調整します。

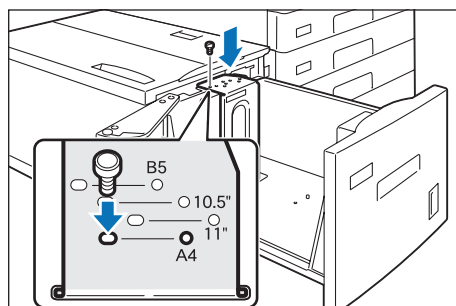
- (1) エンドガイドを開いて (①)、奥のガイドのネジを外し (②)、ガイドを用紙トレイから外します。



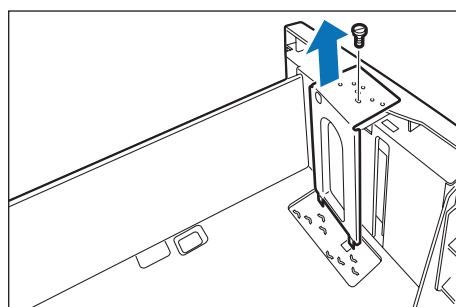
- (2) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込みます。



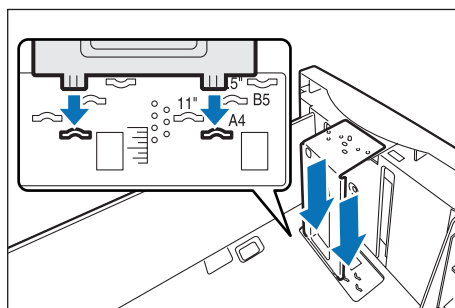
- (3) ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます。



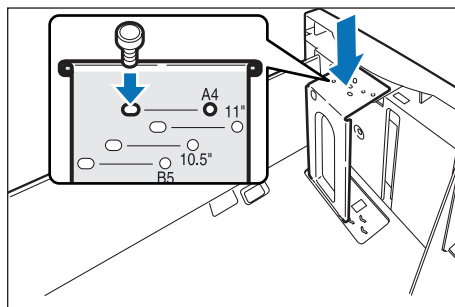
- (4) 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。



(5) ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込みます。



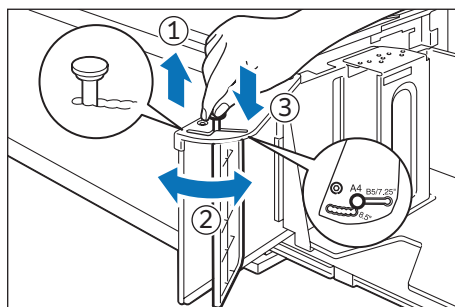
(6) ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます。



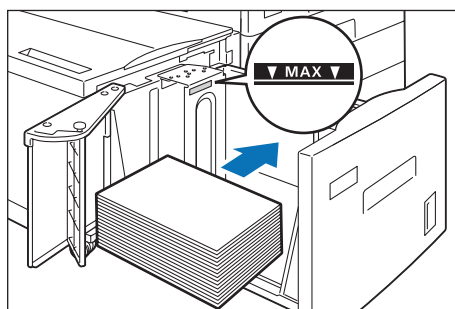
(7) エンドガイドのレバーを引き上げ (①)、レバーを溝に沿って移動させながら用紙サイズに合わせて (②)、レバーを下ろします (③)。

 補足

エンドガイドの8.5" の左側の溝は使用しません。

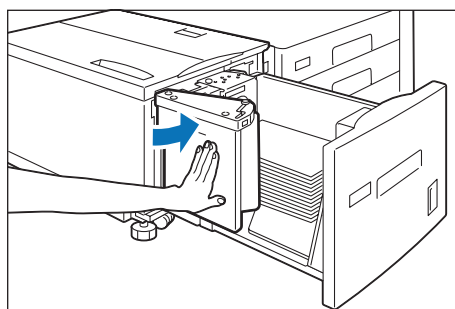


4. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。



5. エンドガイドをしっかり閉じます。

6. 用紙トレイを押し込みます。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

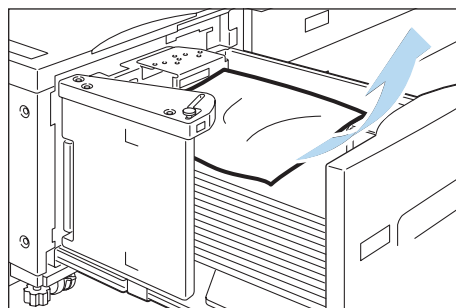
紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

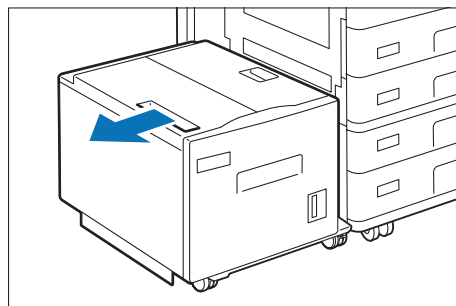
■ 用紙トレイ

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 詰まっている用紙を取り除きます。
3. 用紙トレイを押し込みます。

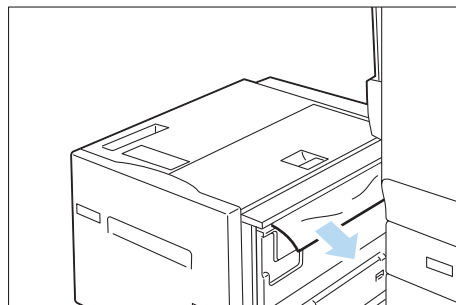


■ 排出口

1. 取っ手を持って、ユニットをいっぱいまで左に移動します。

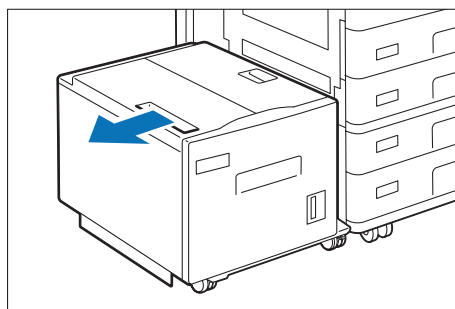


2. 詰まっている用紙を取り除きます。
3. ユニットを右に移動し、本体と接続させます。

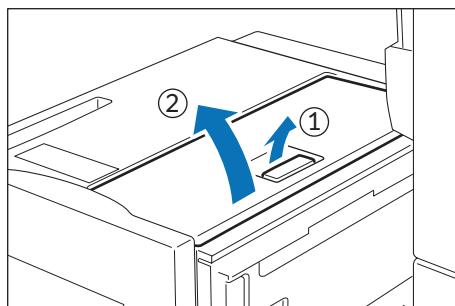


■ 上面カバー内部

1. 取っ手を持って、ユニットをいっぱいまで左に移動します。



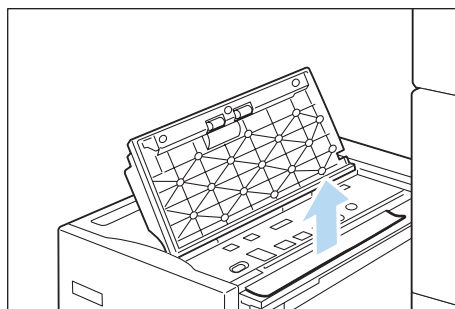
2. レバーを引いて (①)、カバーを開きます (②)。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

4. カバーを閉じます。

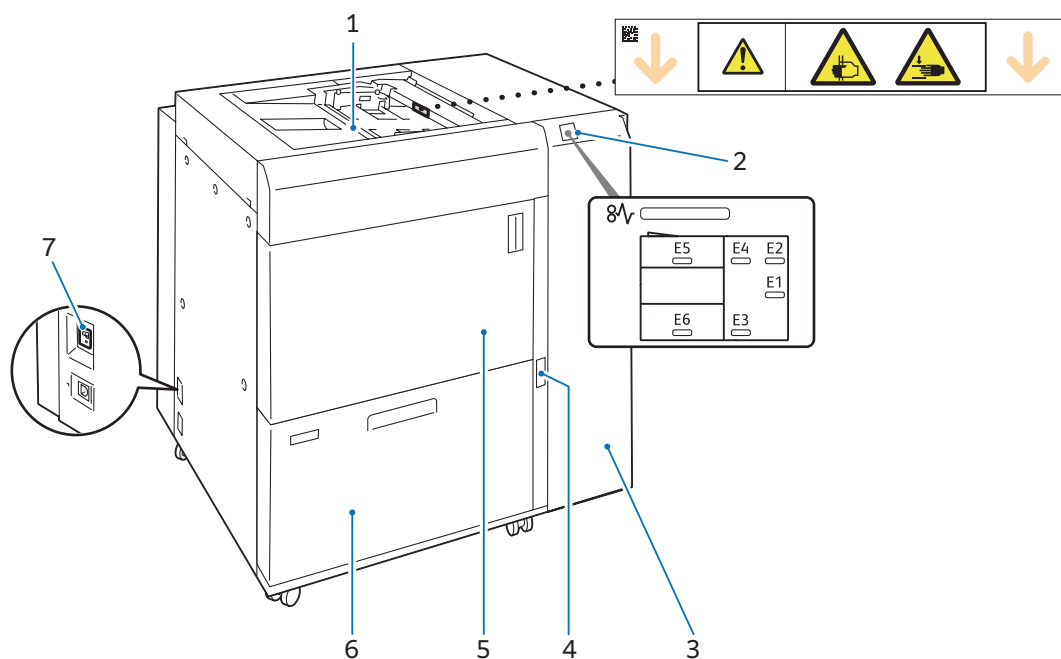
5. ユニットを右に移動し、本体と接続させます。



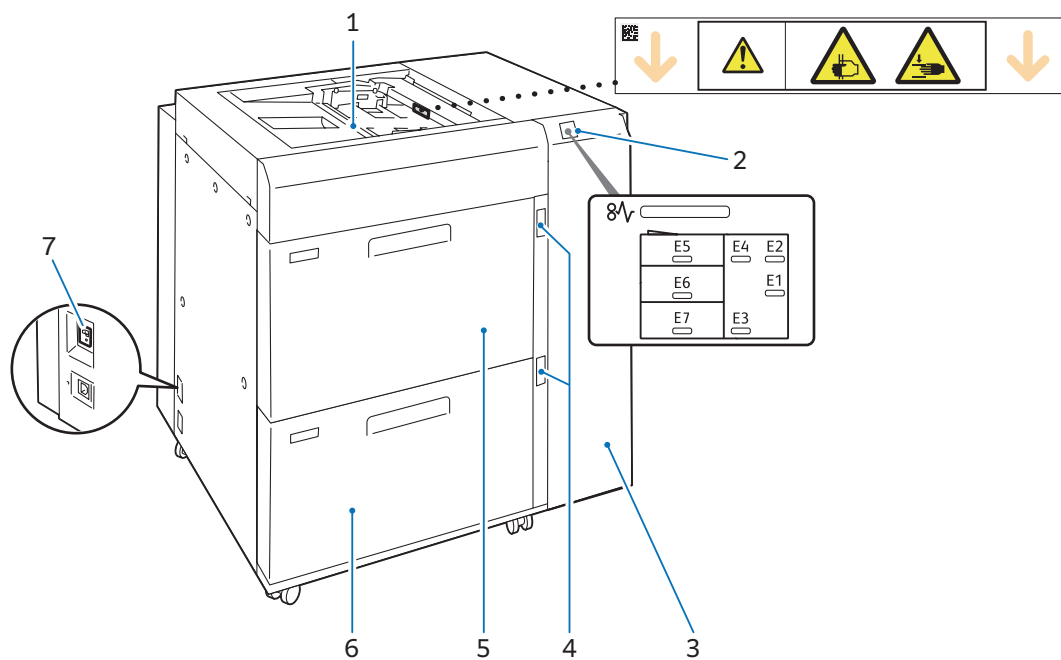
2 大容量給紙トレイB1-S/C3-DS

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置

B1-S



C3-DS



No.	名称		説明
1	手差しトレイ（用紙トレイ5）		用紙をセットします。
2	エラーランプ		紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
3	右側カバー		紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
4	残量ランプ		用紙トレイが動作中の場合は、1番上の使用中ランプが点灯します。 中央の4つのランプ（1つ＝25%）で用紙の残量を確認できます。 用紙補給ランプが点灯したら、用紙は空です。
5	B1-S	消耗品収納部	用紙や消耗品を収納します。
	C3-DS	大容量トレイ（用紙トレイ6）	用紙をセットします。
6	B1-S	大容量トレイ（用紙トレイ6）	用紙をセットします。
	C3-DS	大容量トレイ（用紙トレイ7）	
7	漏電ブレーカー		漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。

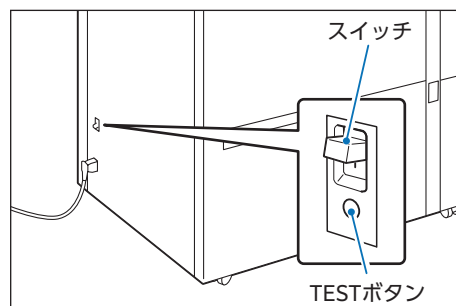
漏電ブレーカー

長時間使用しないときや移動するときは、スイッチを下側にし
て、電源を遮断します。

補足

電源は、漏電を検知すると自動で遮断されますので、通常は操作しな
いでください。

漏電については、『取扱説明書』を参照してください。



■ 主な仕様

項目	仕様			
用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"	
		最小	郵便はがき（日本郵便製）	
	非定形サイズ (mm)	たて	100～330	
		よこ	148～488（長尺用手差しトレイ取り付け時：660）	
用紙坪量（g/m ² ）	B1-S	手差しトレイ	非コート紙	52～300
			コート紙	106～300
		大容量トレイ	非コート紙	52～300
			コート紙	106～300
	C3-DS	手差しトレイ	非コート紙	52～300
			コート紙	106～300
		大容量トレイ	非コート紙	52～350
			コート紙	106～350
トレイ容量（枚）	B1-S	2,100、手差しトレイ：250		
	C3-DS	2,100×2トレイ（最大4,200）、手差しトレイ：250		
電源	B1-S	AC 100 V±10%、2.5 A、50/60 Hz共用		
	C3-DS	AC 100 V±10%、6 A、50/60 Hz共用		
最大消費電力	B1-S	250 W		
	C3-DS	600 W		
大きさ（mm）	幅988×奥行762×高さ992			
質量（kg）	B1-S	167（手差しトレイを含む）		
	C3-DS	206（手差しトレイを含む）		

用紙のセット

用紙をセットしたときは、ホーム画面で用紙トレイの設定をします。

68 参照

詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「セットアップ」を参照してください。

■大容量トレイへのセット

セットした用紙の上面が印字面になります。

注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

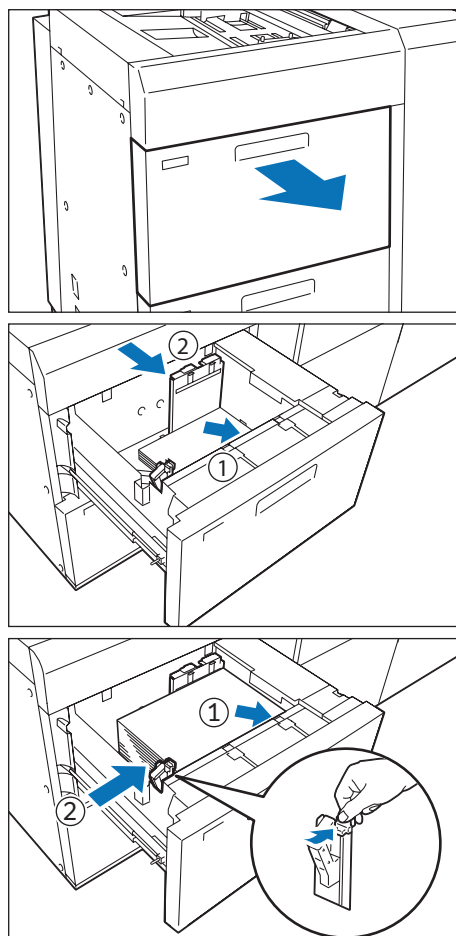
補足

- ・セットする用紙が100枚以下の場合、ガイドが用紙に強く当たるため、用紙が変形して紙詰まりの原因となることがあります。
- ・ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。
- ・底板の上昇中に電源が切れた場合、電源を再度入れたときに底板が上がらなくなることがあります。このような場合は、用紙トレイを一度引き出し、底板が下がったことを確認してから、ゆっくりと確実に押し込んでください。
- ・用紙のセット後や給紙のときに、空気を送り出す音がします。これは、エアアシスト機能が働いている音で、異常音ではありません。

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。
3. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえて約100～500枚セットします (①)。
4. 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます (②)。
5. 印字面を上にして、残りの用紙を矢印の方向にそろえてセットします (①)。
6. 横ガイドを用紙サイズに合わせます (②)。
広げるときは、ガイドクリップを指でつまんで、ガイドを移動させます。
縮めるときは、ガイドを押して移動させます。

補足

用紙送り出し精度のレバーが通常の位置になっていることを確認してください。また、用紙を正しくセットしても、斜めにプリントされる（印字位置がずれる）ときは、用紙送り出し精度の切り替えを有効にしてください。

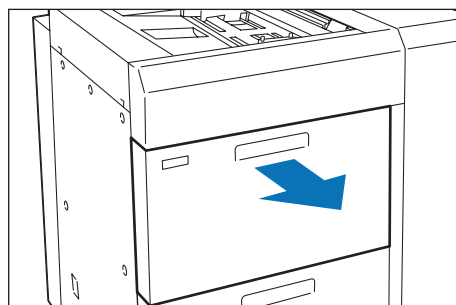


7. 用紙トレイを押し込みます。

はがきのセット

用紙トレイに付属のはがきセットガイドを使用すると、たて：100～181 mmの用紙をセットできます。

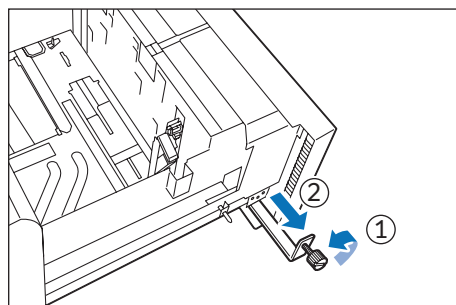
1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



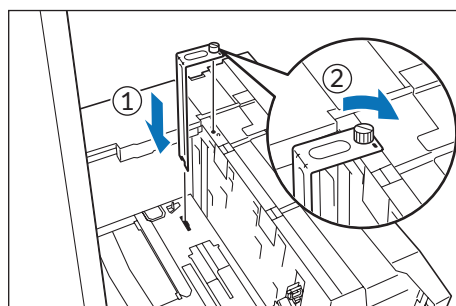
3. 用紙トレイに付属のガイドを使用するときは、用紙トレイの左側にある、ガイドのネジをゆるめて (①)、取り外します (②)。

補足

- ・ C3-DSのはがきセットガイドは上段の用紙トレイにあります。
- ・ B1-Sのはがきセットガイドは下段の用紙トレイにあります。



4. 底面右側の切り込みと手前のネジ穴に、ガイドを差し込み (①)、ガイドのネジを締めて固定します (②)。

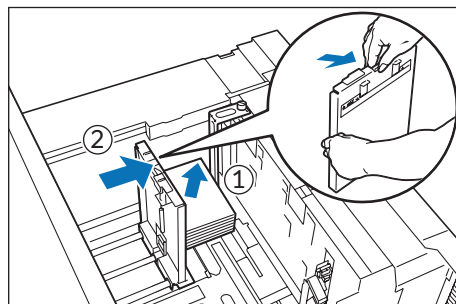


5. 印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえて約100～500枚セットします (①)。

補足

- ・ 必ず、よこ置きでセットしてください。
- ・ セットしたはがきの右側が用紙前端になります。

6. 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます (②)。



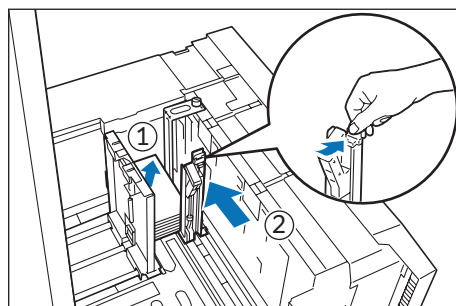
7. 印字面を上にして、残りの用紙を矢印の方向にそろえてセットします (①)。

8. 横ガイドを用紙サイズに合わせます (②)。

広げるときは、ガイドクリップを指でつまんで、ガイドを移動させます。

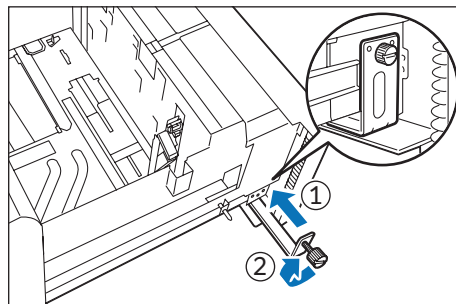
縮めるときは、ガイドを押して移動させます。

9. 用紙トレイを押し込みます。



10. 取り外すときは、ガイドのネジを完全にゆるめてから取り外します。

11. 取り外したガイドは、用紙トレイ左側の所定の位置に差し込み (①)、ネジを締めて (②) 保管します。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

■ インデックス紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが左側

封筒のセット

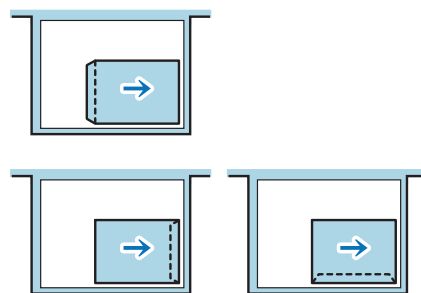
■ セット前

封筒の状態を確認します。

- ・カールや端部の波打ちなどがないこと
カール、端部の波打ちが大きい場合は封筒の交換、または矯正で良化します。
- ・貼りつきがないこと
貼りついているときは、糊や貼り合わせ部の重なりを取り除きます。
- ・糊のはみ出しがないこと
はみ出しているときは、糊を拭き取ります。
- ・封筒折れがないこと

■ セット方法

- ・セット面：プリントする面を上向き
- ・フラップを開けた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが左側
- ・フラップを閉じた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが右、または手前側
- ・イメージの向き、フラップの開閉状態などにより、右図の用紙セット方向では印字できない場合、用紙のセット方向は右図のまま、プリントサーバーの設定で、イメージの向きを変えてください。



注記

封筒を大量にセットしないでください。大量にセットすると、封筒が傾き、故障するおそれがあります。

補足

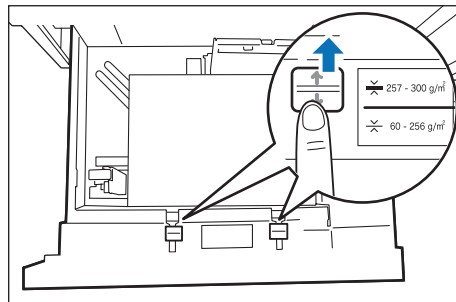
- ・フラップを開けた状態でセットすると、定形サイズとして自動検知されません。
- ・のり付きの封筒は、フラップを閉じてセットしてください。
- ・フラップを閉じて手前側に向けてセットした場合、配置されている画像によっては、用紙後端の画像部分に印字不良が発生することがあります。
- ・封筒ごとに厚みに差があると、重送が検知されることがあります。
- ・用紙がカールしている場合は、カール補正をしてください。
- ・用紙バリ（用紙の裁断面に生じる突起）がある場合は、よくさばいてください。

■ 用紙の設定

- セット用紙種類：封筒
- 用紙坪量：用紙に表示されている坪量
- 用紙サイズ：フラップ閉じた状態では定形サイズ、フラップを開けた状態では非定形サイズ

坪量切り替えボタン（B1-S）

257 g/m²以上の用紙を使用するときには切り替えます。



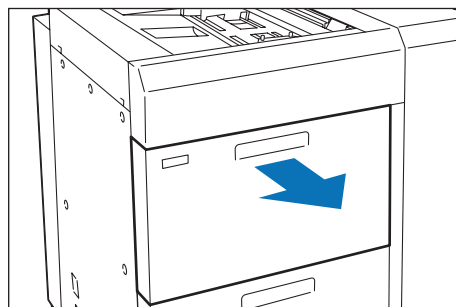
用紙の送り出し精度の切り替え

用紙坪量が220 g/m²以下の普通紙で、用紙を正しくセットしても、斜めにプリントされる（印字位置がずれる）ときに有効にすると、印字ずれが改善することがあります。

補足

- 厚紙や普通紙以外の用紙では、有効にすると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。
- はがきセットガイドを使用したときは効果がありません。

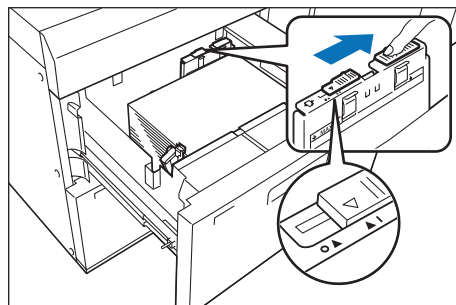
1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。



2. 縦ガイドの上部にあるレバーを右いっぱい（<I>の位置）まで移動し、切り替えを有効にします。

補足

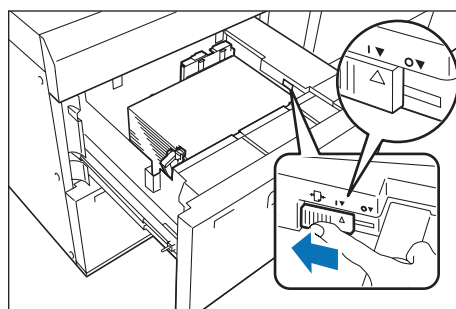
元に戻す場合は、レバーを左いっぱいまで移動します。



3. 2を実施しても、用紙送り出しの精度が上がらない場合は、右側手前のレバーを奥いっぱい（<I>の位置）まで移動し、切り替えを有効にします。

補足

元に戻す場合は、レバーを手前いっぱいまで移動します。



4. 用紙トレイを押し込みます。

目的の用紙を使い終わったら、通常の位置<O>に、レバーを戻します。

■手差しトレイへのセット

セットした用紙の上面が印字面になります。

注記

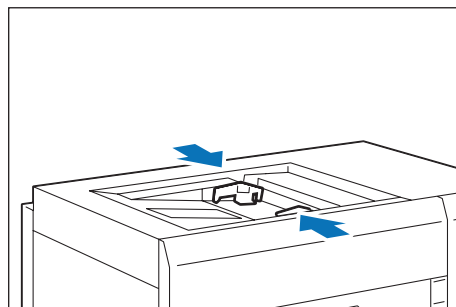
用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

- 用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙詰まりの原因となります。
- コート紙は、1枚だけセットできます。
- 複数枚セットしたときの画質と用紙走行性を保証していません。

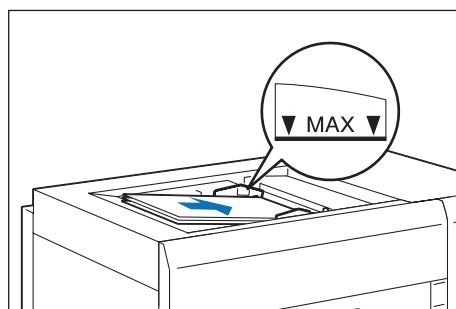
スライドタイプ

1. 用紙ガイドを調整し、セットする用紙のサイズに合わせます。



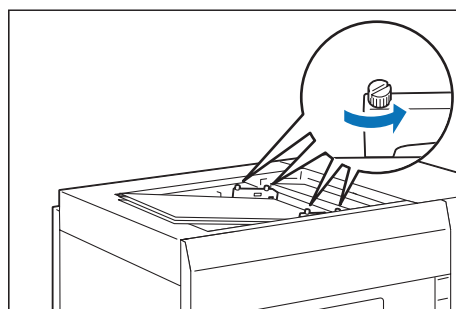
2. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

3. 非定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドを微調整します。

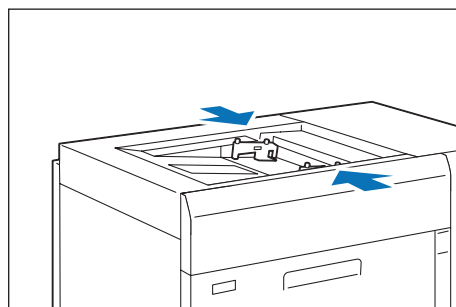


フレキシブルタイプ（長尺用）

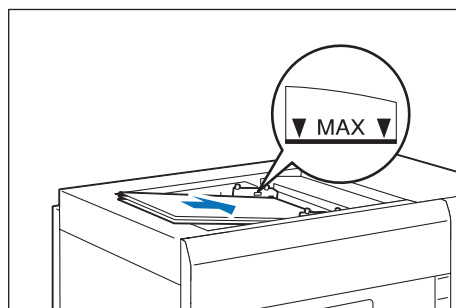
1. 用紙ガイドのネジ（4か所）をゆるめます。



2. 用紙ガイドの中央部を持ち、セットする用紙のサイズに合わせます。



3. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。
4. 用紙ガイドのネジ（4か所）を固定します。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

■ インデックス紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが左側

■ はがき

用紙の向き：よこ置き

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

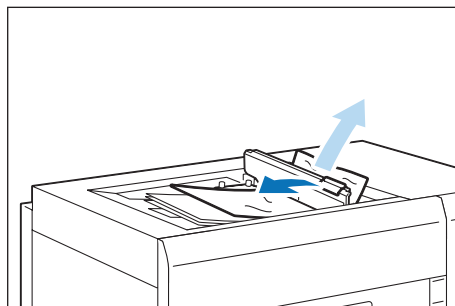
■ 用紙トレイ

1. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE5が点灯したとき	P.18
ランプE6が点灯したとき（C3-DS）	P.18
ランプE6が点灯したとき（B1-S）、ランプE7が点灯したとき（C3-DS）	P.19

■ ランプE5が点灯したとき

- (1) 上部カバーを開き、詰まっている用紙とトレイにセットしてある用紙のすべてを取り除きます。
- (2) カバーを閉じます。
- (3) 取り出した用紙の四隅をそろえ、用紙をセットし直します。



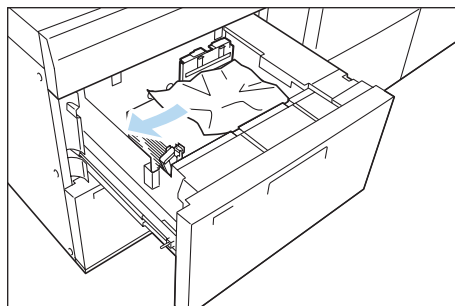
■ ランプE6が点灯したとき（C3-DS）

- (1) 用紙トレイ6をいっぱいまで引き出します。

補足

引き出す前に、右側カバー内部に用紙が詰まっていないことを確認してください。

- (2) 詰まっている用紙を取り除きます。
- (3) 用紙ガイドの位置を確認し、用紙トレイを押し込みます。



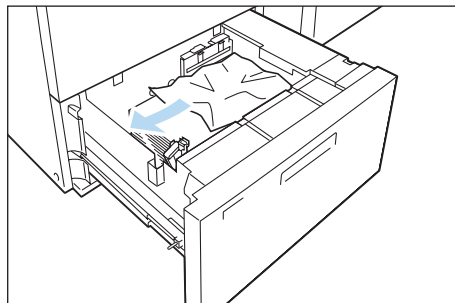
■ ランプE6が点灯したとき (B1-S)、ランプE7が点灯したとき (C3-DS)

- (1) 用紙トレイ6 (または7) をいっぱいまで引き出します。

補足

引き出す前に、右側カバー内部に用紙が詰まっていることを確認してください。

- (2) 詰まっている用紙を取り除きます。
(3) 用紙ガイドの位置を確認し、用紙トレイを押し込みます。



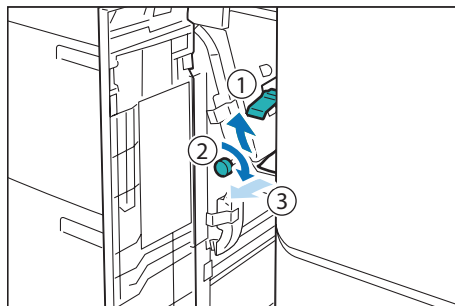
■ 右側カバー内部

1. 右側カバーを開けます。
2. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE1が点灯したとき	P.19
ランプE2が点灯したとき	P.19
ランプE3が点灯したとき	P.20
ランプE4が点灯したとき	P.20

■ ランプE1が点灯したとき

- (1) レバー [1d] を上方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
(2) レバー [1d] を戻します。



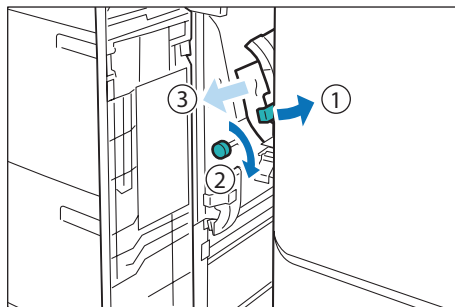
■ ランプE2が点灯したとき

- (1) レバー [1a] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

補足

ノブ [1c] は3回転以上回してください。

- (2) レバー [1a] を戻します。

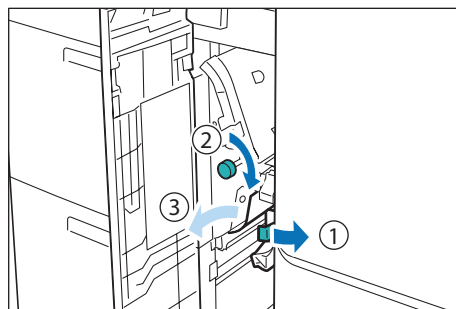


.....

■ ランプE3が点灯したとき

(1) レバー [1b] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

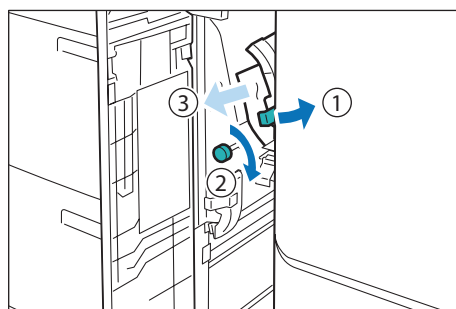
(2) レバー [1b] を戻します。



.....

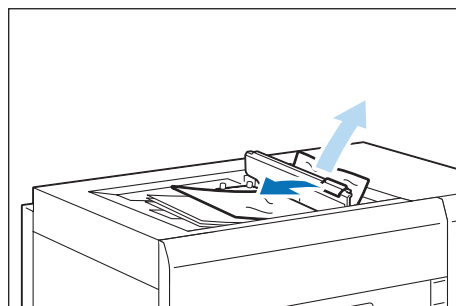
■ ランプE4が点灯したとき

(1) レバー [1a] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。



(2) 用紙が取りづらい場合は、上面カバーを開き、詰まっている用紙を取り除きます。

(3) レバー [1a] を戻します。



.....

3. カバーを閉じます。

機械の清掃

- ・清掃には、各手順で指定されたものをご使用ください。
- ・湿拭きをする場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布を使用します。水気が残っていると、機械が故障するおそれがあります。
- ・紙粉の清掃には、一般に販売されているドライタイプの不織布の使用が効果的です。不織布は、軽くなでるだけで汚れや埃を拭き取ることができる、柔らかく吸着性の高いものを使用してください。薬品類や研磨剤が付いている不織布は使用しないでください。
- ・ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック部品の塗装、コーティングなどを傷めることがあります。

補足

清掃したあとは、確実にカバーを閉じてください。カバーが開いたままだと、エラーになり、プリントできません。

用紙の走行

清掃すると、一時的に白点が多く発生します。清掃したあとに用紙走行を実施すると、清掃効果が向上します。

1. C100%とM100%のデータをSRA3、またはA3サイズで作成します。
2. このデータをSRA3、またはA3サイズの用紙に両面で20枚程プリントします。

内部の清掃

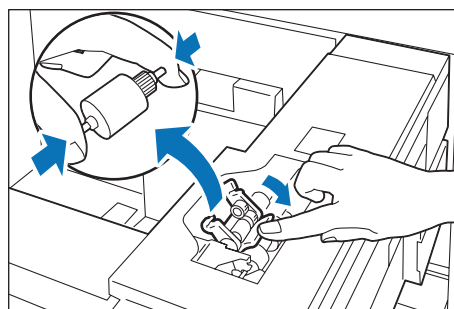
No.	清掃項目	頻度	ページ
1	大容量トレイの清掃	毎週（用紙ガイド、フィーダーカバー内のローラーに紙粉汚れが目立つ場合）	P.21
2	大容量トレイからの用紙搬送部（右側カバー内部）の清掃	毎週	P.23

補足

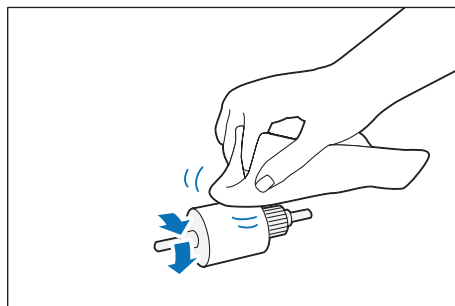
清掃後、ローラー表面や用紙搬送面に異物がないことを確認してください。

大容量トレイの清掃

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙トレイ右側にあるフィーダーカバー内のローラーを清掃します。
 - (1) ローラー1のホルダーを矢印方向に倒し、ローラー1のピンをつまんで取り外します。



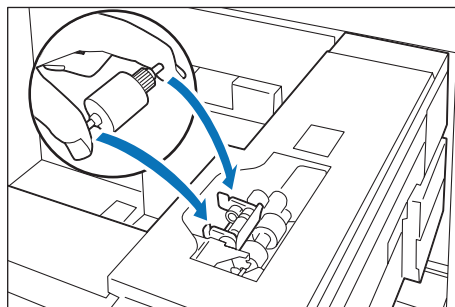
- (2) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラー1の表面を拭きます。



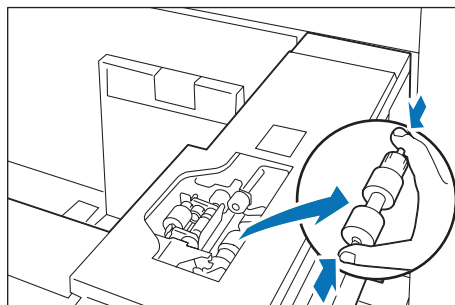
- (3) ローラー1を取り付けます。

 補足

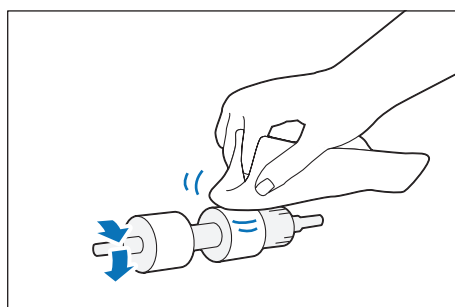
ピンがきちんとホルダーに収まっているかを確認してください。



- (4) ローラー2のピンをつまんで取り外します。



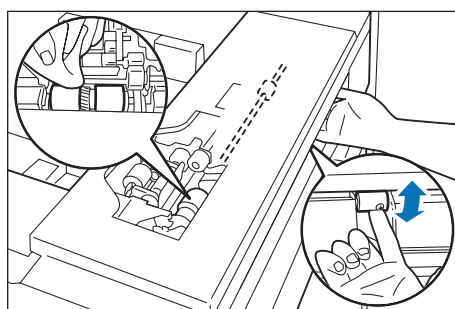
- (5) ローラー2の表面を拭きます。



- (6) 片手でシャフトを回しながら、もう一方の手でローラー3の表面を拭きます。

 補足

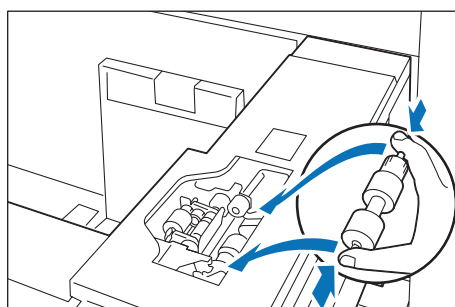
ローラー3は、ローラー2をはずしたままで清掃します。



- (7) ローラー2を取り付けます。

3. 用紙トレイを押し込みます。

4. もう1つの用紙トレイを、1～3の手順で清掃します。

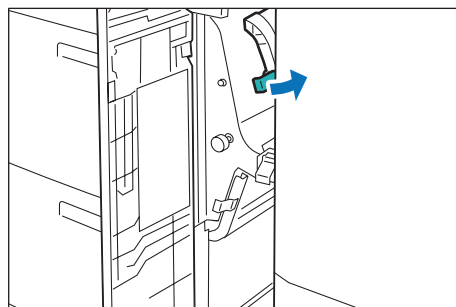


■大容量トレイからの用紙搬送部（右側カバー内部）の清掃

補足

- ・清掃中はローラーを押さないでください。ローラーを押すと、ローラーが脱落することがあります。
- ・紙粉の清掃には、ドライタイプの不織布を使用すると効果的です。

1. 右側カバーを開けます。
2. レバー [1a] を右方向に開きます。

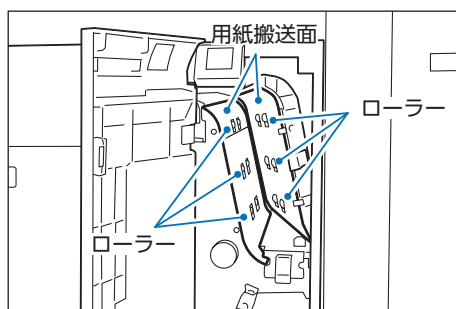


3. レバー [1a] の内側を清掃します。

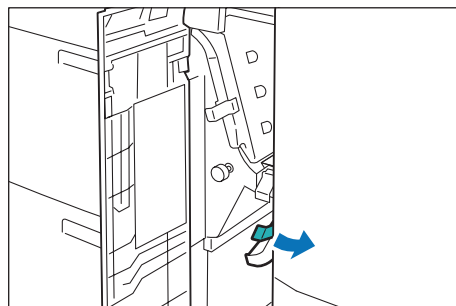
(1) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラーの表面を拭きます。

(2) 用紙搬送面に付着する紙粉を拭き取ります。

4. レバー [1a] を戻します。



5. レバー [1b] を右方向に開きます。

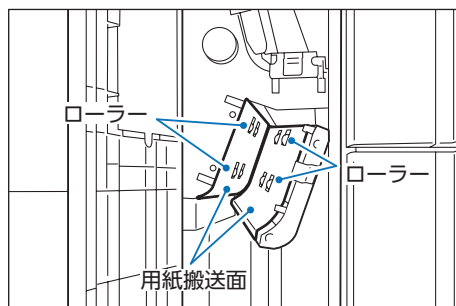


6. レバー [1b] の内側を清掃します。

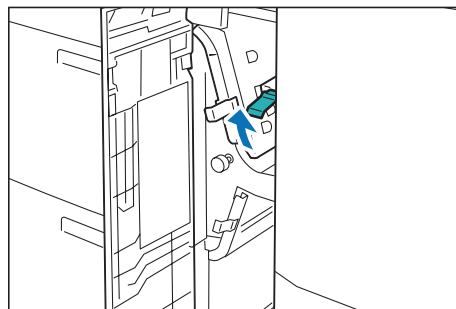
(1) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラーの表面を拭きます。

(2) 用紙搬送面に付着する紙粉を拭き取ります。

7. レバー [1b] を戻します。



8. レバー [1d] を上方向に開きます。



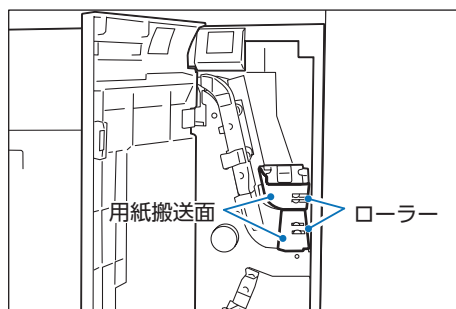
9. レバー [1d] の内側を清掃します。

(1) 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、ローラーの表面を拭きます。

(2) 用紙搬送面に付着する紙粉を拭き取ります。

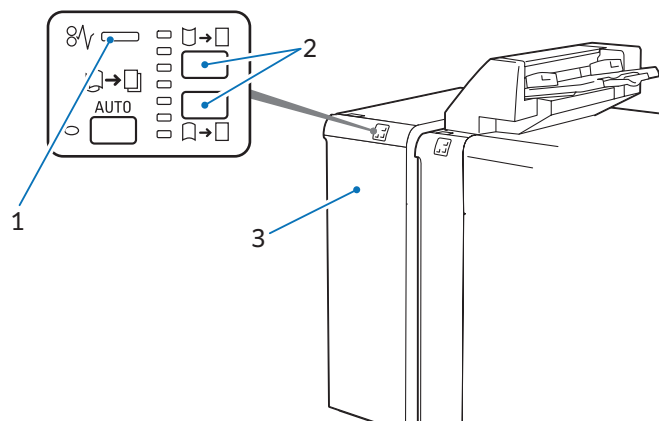
10. レバー [1d] を戻します。

11. カバーを閉じます。



3 インターフェイスデカーラー

■ 各部の名称と働き/警告ラベルの位置



No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 ランプが点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	カール補正ボタン	ボタンを押すと、用紙のカールを補正できます。このカール補正機能は、プリント中の補正用です。
3	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

■ 主な仕様

項目	仕様
電源	AC 100 V $\pm$ 10%、2.5 A、50/60 Hz共用
最大消費電力	250 W
大きさ (mm)	幅340 $\times$ 奥行725 $\times$ 高さ992
質量 (kg)	40

カール補正

カール補正ボタンによって、熱や圧力による用紙のカールを補正できます。
カール補正ボタンは、機械の電源が入っているときは、機械の状態にかかわらず操作できます。

補足

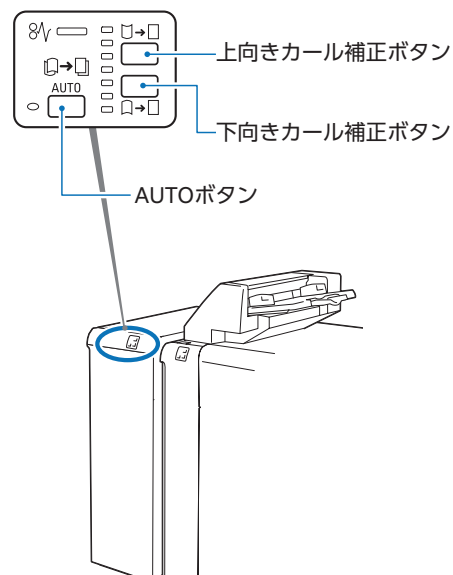
- このカール補正機能は、プリント中の補正用です。用紙特性に合わせたきめ細かな補正は、操作パネルで行います。
- ステープルはカールの影響を受けやすいため、排出される用紙のカール方向を確認し、常にカール補正をしてください。
- 機械が動作中に補正した場合、ボタンを押した直後の排出用紙から適用されます。

1. 用紙がカールしている向きを確認します。

2. カール補正ランプが点灯していることを確認し、ボタンを押します。

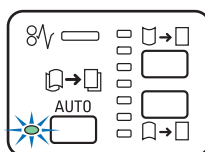
補足

- [AUTO] モードで用紙を走行させたときに、一瞬だけ、現在のカール補正の方向や強さを示すランプが点灯します。手動でカール補正をするときは、このランプの点灯を目安にして調整してください。
- 上向きカール補正ボタン、または下向きカール補正ボタンを押してカール補正をしたあとに、厚紙やエンボス紙、OHPフィルムを走行する場合は、[AUTO] モードに自動で切り替わり、標準的な補正值で、カール補正をします。
これらの用紙で、[AUTO] モードに自動で切り替わらない設定に変更することもできます。詳しくは、弊社の営業担当者、またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。



カール補正機能の動作と機能

AUTOボタンを押すと、[AUTO] モードになります。



ランプ表示	モード	機能
	AUTO	自動的にカール補正をします。 通常は、このモードでを使用することをおすすめします。 用紙サイズや排出する向きなどに応じて、最適なカール補正をします。
	OFF	カール補正をしません。
	上向きカール	排出された用紙が上向きにカールしているときに、上向きカール補正をします。 上向きカール補正ボタンを押すたびに、補正の度合いが切り替わります。 ランプの点灯が上にいくほど、補正の度合いが強くなります。
	下向きカール	排出された用紙が下向きにカールしているときに、下向きカール補正をします。 下向きカール補正ボタンを押すたびに、補正の度合いが切り替わります。 ランプの点灯が下にいくほど、補正の度合いが強くなります。

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。ランプが点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

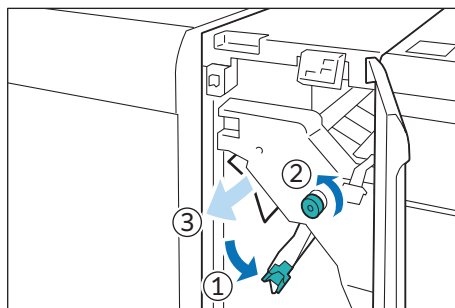
補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

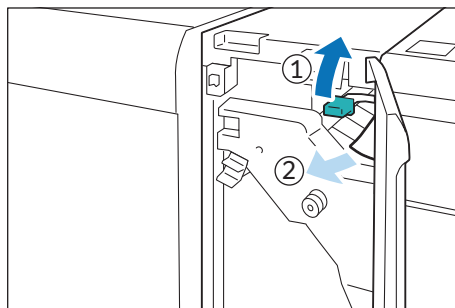
1. カバーを開けます。
2. レバー「1a」を下方向に開いて (①)、ノブ「1b」を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

補足

- ・ノブは必ず、10回以上回してください。
- ・用紙を取り除くときは、必ず、ゆっくりと引きながら、取り除いてください。
- ・詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。

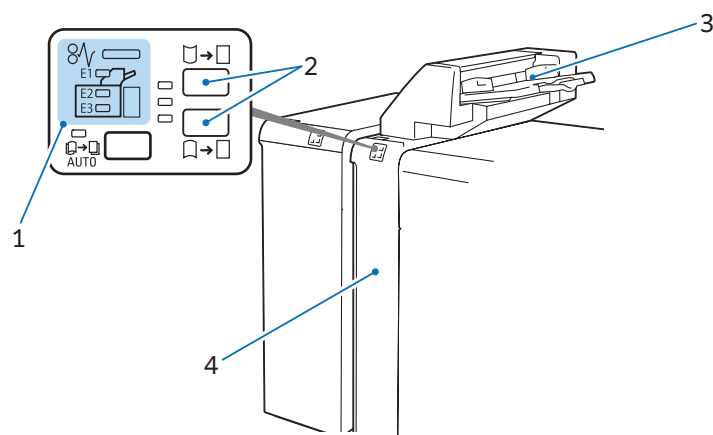


3. レバー「1a」を戻します。
4. 用紙が取りづらい場合は、レバー「1c」を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
5. レバー「1c」を戻します。
6. カバーを閉じます。



4 インターポーザー

■各部の名称と働き



No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	カール補正ボタン	インターフェイスデカーラーの補正を一番上（または一番下）にしても、まだカールが直らないときに使用します。 補正方法は、インターフェイスデカーラーと同じです。ただし、補正の度合いは、OFF/上向き/下向きの3段階になります。 63 参照 「カール補正」(P.26)
3	合紙/表紙トレイ (用紙トレイT1)	合紙や表紙に使用する用紙をセットします。
4	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

■ 主な仕様

項目	仕様		
用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
		最小	A5 
	非定形サイズ (mm)	たて	182～330
		よこ	148～488
用紙坪量 (g/m ²)	52～350  補足 次の用紙で中とじ/二つ折りをすると、折りずれや紙しわが発生しますので、手差しトレイを使用してください。 ・用紙坪量が127 g/m ² 以下のコート紙 ・用紙坪量が80 g/m ² 以下の白紙（プリントしない用紙）		
トレイ容量 (枚)	250		
電源	インターフェイスデカラーから供給		
大きさ (mm)	幅700×奥行725×高さ1,235（用紙搬送部だけの幅は165）		
質量 (kg)	45		

用紙のセット

合紙や表紙に使用する用紙（白紙やプリントした用紙など）をセットします。
なお、合紙/表紙トレイは、合紙や表紙に使用する用紙をセットするためのトレイで、プリントはできません。

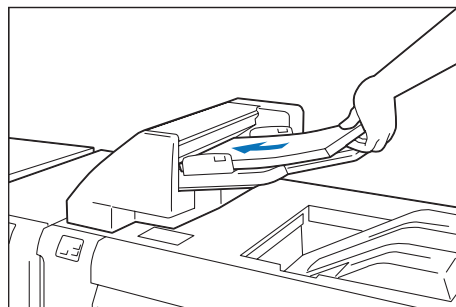
補足

- ・トレイに残っている用紙をすべて取り出してから、追加する用紙と一緒に再度セットしてください。
- ・中とじ/二つ折りは、本文（プリンター本体から排出される用紙）と同じ用紙サイズの時だけ可能です。
- ・先に用紙をセットしてからジョブを開始してください。

1. 用紙をさばき、用紙を用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

注記

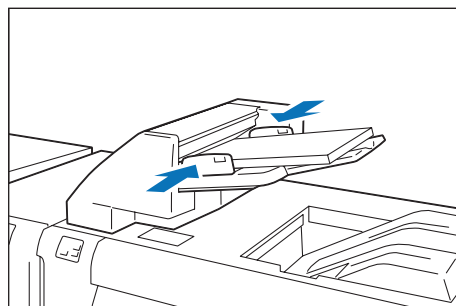
用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。



2. 用紙ガイドを調整し、セットする用紙のサイズに合わせます。

補足

用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかったりすると紙詰まりの原因となります。



特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

■ インデックス紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが左側

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

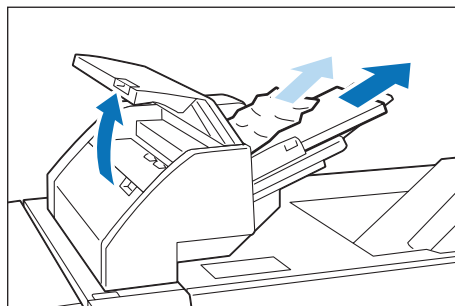
紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE1が点灯したとき	P.32
ランプE2が点灯したとき	P.32
ランプE3が点灯したとき	P.33

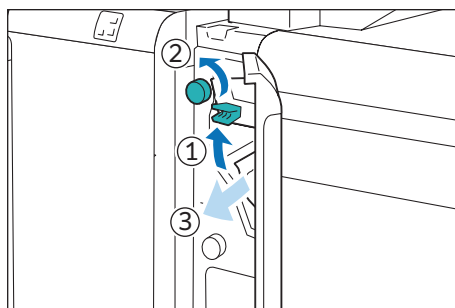
■ ランプE1が点灯したとき

- (1) 上部カバーを開き、詰まっている用紙とトレイにセットしてある用紙のすべてを取り除きます。
- (2) カバーを閉じます。
- (3) 取り出した用紙の四隅をそろえ、用紙をセットし直します。



■ ランプE2が点灯したとき

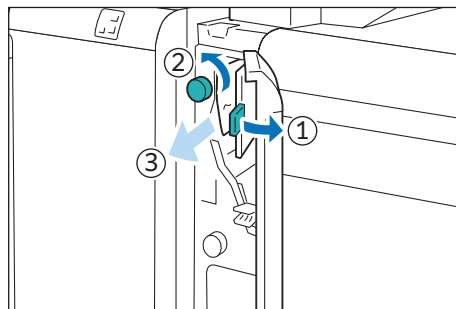
- (1) カバーを開けます。
- (2) レバー [1a] を上方向に開いて (①)、ノブ [1b] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (3) レバー [1a] を戻します。



- (4) 用紙が取りづらい場合は、レバー [1c] を右方向に開いて (①)、ノブ [1b] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

- (5) レバー [1c] を戻します。

- (6) カバーを閉じます。



■ ランプE3が点灯したとき

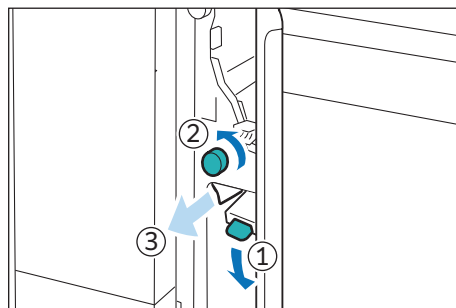
- (1) カバーを開けます。

- (2) レバー [1d] を下方向に開いて (①)、ノブ [1e] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

補足

詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。

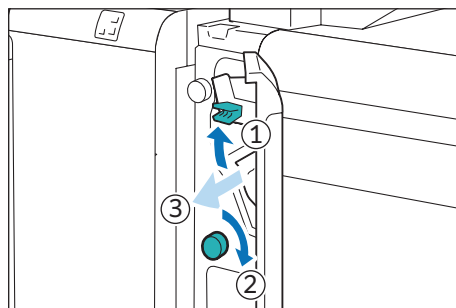
- (3) レバー [1d] を戻します。



- (4) 用紙が取りづらい場合は、レバー [1a] を上方向に開いて (①)、ノブ [1e] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

- (5) レバー [1a] を戻します。

- (6) カバーを閉じます。



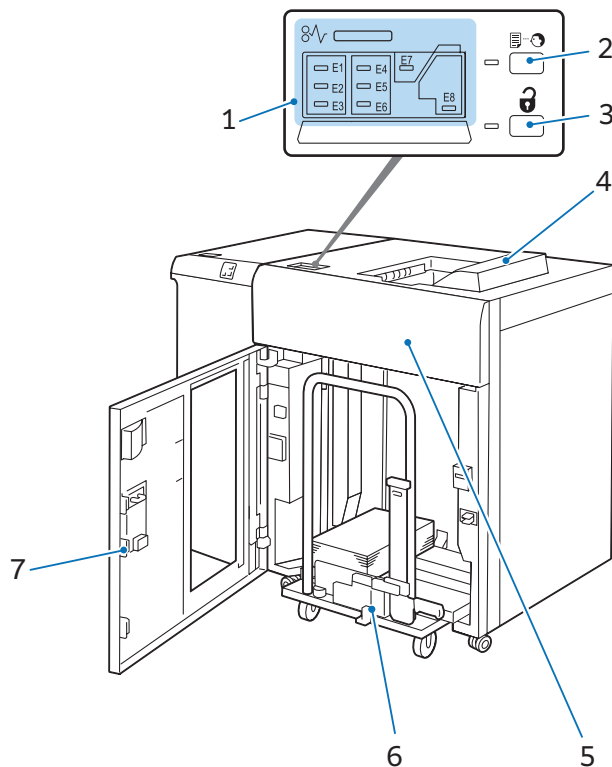
2. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

参照

「カール補正」(P.26)

5 大容量スタッカー

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置



No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	サンプルボタン	ボタンを押すと、排出トレイにサンプルが1枚排出されます。
3	用紙取り出しボタン	ボタンを押すと、プリントが終了し、用紙を取り出せます。
4	排出トレイ	用紙が排出されます。サンプルはここに排出されます。
5	正面上部カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
6	スタックートレイ (スタッカーカート)	用紙取り出しボタンを押すと、スタッカーカートに用紙が移動して、排出されます。
7	正面下部カバー	用紙を取り出すときに、このカバーを開きます。

■ 主な仕様

項目	仕様			
トレイ容量（枚）	排出トレイ	500		
	スタッカートレイ	5,000		
用紙サイズ	排出トレイ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	郵便はがき（日本郵便製）
		非定形サイズ（mm）	たて	100～330
			よこ	148～488（長尺用延長キット取り付け時：1,300）
	スタッカートレイ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	JIS B5
		非定形サイズ（mm）	たて	203～330
			よこ	182～488
用紙坪量（g/m ² ）	排出トレイ	非コート紙		52～350
		コート紙		106～350
	スタッカートレイ	非コート紙		52～300
		コート紙		106～300
電源	AC 100 V±10%、1.5 A、50/60 Hz共用			
最大消費電力	150 W			
大きさ（mm）	幅800×奥行725×高さ1,042 補足 長尺用延長キット取り付け時は、次のようになります。 ・長尺用延長キット：幅+666×奥行±0×高さ+154 ・うす紙収納用ワイヤー：幅+233×奥行±0×高さ+185			
質量（kg）	155+2（長尺用延長キット）			

用紙の排出

■ 排出トレイ

長尺用延長キット

長尺用紙の先端を垂れ下げずに排出トレイに収納できます。

用紙サイズ (mm)	トレイ容量 (枚)
たて：210～330 よこ：489～1,300	～729 mm：100 730 mm～：10

注記

トレイ容量を超える用紙を積載すると、延長トレイが破損するおそれがあります。

補足

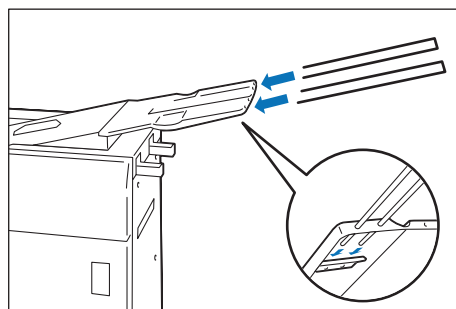
延長キットを取り付けると、よこ：488 mm以下の用紙の収納枚数が250枚になります。

■ 延長トレイ

延長トレイ（2本）をいっぱいまで差し込みます。

補足

トレイ裏側にあるガイドの上を通るようにして、突き当たるまで差し込みます。



■ うす紙収納用ワイヤー

うす紙の収納がうまく行かないときは、ワイヤーを取り付けます。

補足

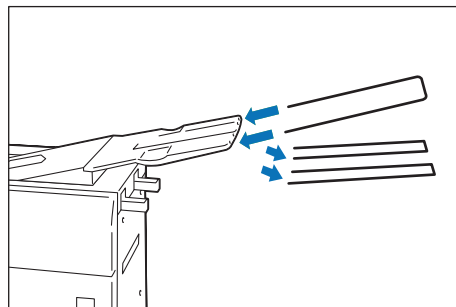
- ・トレイ容量は10枚です。
- ・たて：256 mm以下の用紙は使用できません。
- ・対応している用紙坪量は、82～127 g/m²です。

- (1) 延長トレイ（2本）を外し、ワイヤー取り付け用U字バーをいっぱいまで差し込みます。

補足

トレイ裏側にあるガイドの上を通るようにして、突き当たるまで差し込みます。

- (2) U字バーにワイヤーを取り付けます。



 補足

U字バーを手で持ちながら、固定具をしっかりと押し込んで、U字バーからワイヤーが外れないことを確認してください。

- (3) 排出される用紙のサイズに合わせて、ワイヤーの位置を調整します。

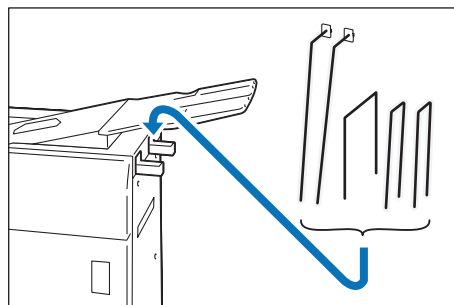
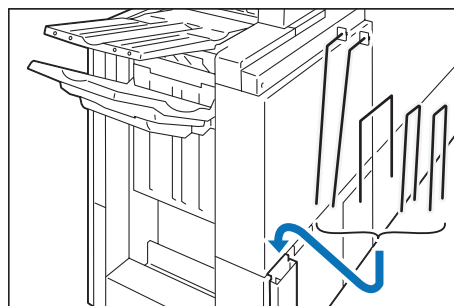
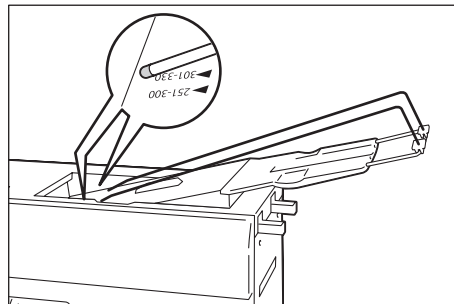
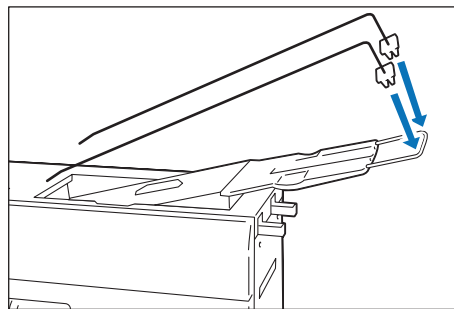
 補足

ワイヤーは平行になるようにセットしてください。

■ **使用しないとき**

(フィニッシャーが取り付けられている場合)
フィニッシャー背面の収納ケースに格納します。

(フィニッシャーが取り付けられていない場合)
スタッカー側面のホルダーにかけておきます。



用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

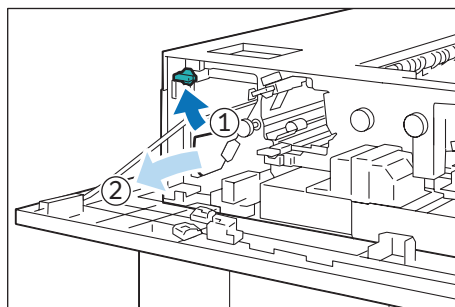
紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE1が点灯したとき	P.38
ランプE2が点灯したとき	P.38
ランプE3が点灯したとき	P.39
ランプE4が点灯したとき	P.39
ランプE5が点灯したとき	P.39
ランプE6が点灯したとき	P.40
ランプE7が点灯したとき	P.40
ランプE8が点灯したとき	P.41

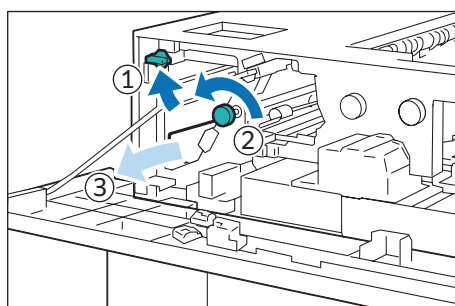
■ ランプE1が点灯したとき

- (1) 正面上部カバーを開けます。
- (2) レバー [1b] を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (3) レバー [1b] を戻します。
- (4) カバーを閉じます。



■ ランプE2が点灯したとき

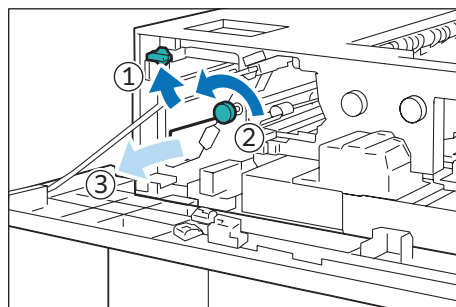
- (1) 正面上部カバーを開けます。
- (2) レバー [1b] を上方向に開いて (①)、ノブ [1a] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (3) レバー [1b] を戻します。
- (4) カバーを閉じます。



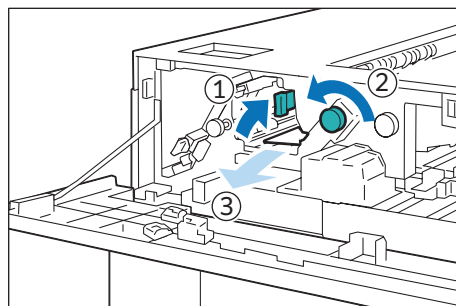
.....

■ ランプE3が点灯したとき

- (1) 正面上部カバーを開けます。
- (2) レバー [1b] を上方向に開いて (①)、ノブ [1a] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (3) レバー [1b] を戻します。



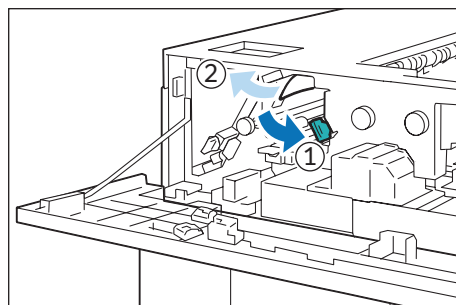
- (4) レバー [2b] を上方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (5) レバー [2b] を戻します。
- (6) カバーを閉じます。



.....

■ ランプE4が点灯したとき

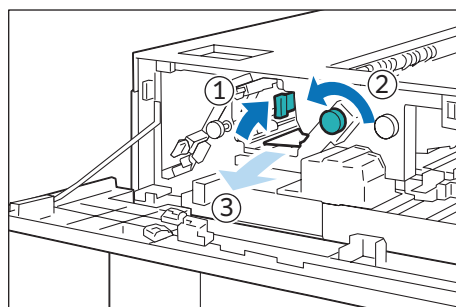
- (1) 正面上部カバーを開けます。
- (2) レバー [2a] を下方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (3) レバー [2a] を戻します。
- (4) カバーを閉じます。



.....

■ ランプE5が点灯したとき

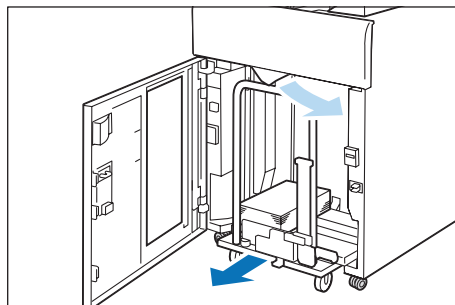
- (1) 正面上部カバーを開けます。
- (2) レバー [2b] を上方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (3) レバー [2b] を戻します。
- (4) カバーを閉じます。



.....

■ ランプE6が点灯したとき

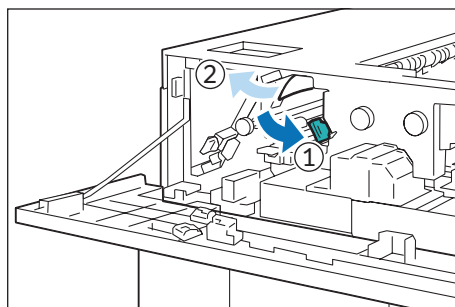
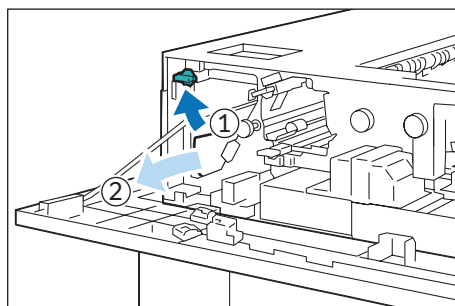
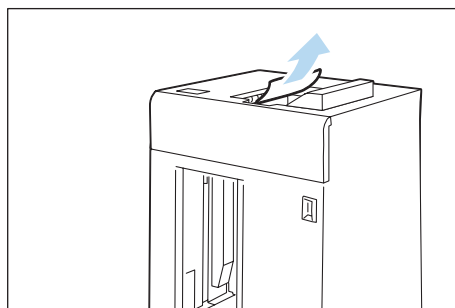
- (1) 用紙取り出しボタンを押します。
- (2) ロックが解除されたら、正面下部カバーを開けます。
- (3) スタッカーカートをゆっくりと引き出して、詰まっている用紙を取り除きます。
- (4) スタッカーカートをゆっくりと戻します。
- (5) カバーを閉じます。



.....

■ ランプE7が点灯したとき

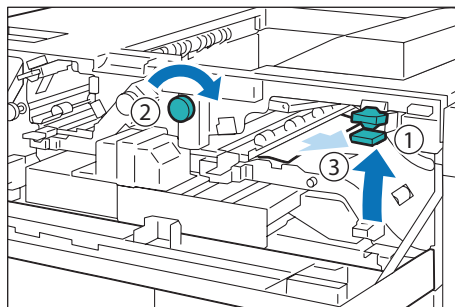
- (1) 排出トレイの排出口に詰まっている用紙を取り除きます。
- (2) 正面上部カバーを開けます。
- (3) レバー [1b] を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (4) レバー [1b] を戻します。
- (5) レバー [2a] を下方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (6) レバー [2a] を戻します。
- (7) カバーを閉じます。



.....

■ ランプE8が点灯したとき

- (1) 正面上部カバーを開けます。
- (2) レバー [3b] を上方向に開いて (①)、ノブ [3a] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (3) レバー [3b] を戻します。
- (4) カバーを閉じます。



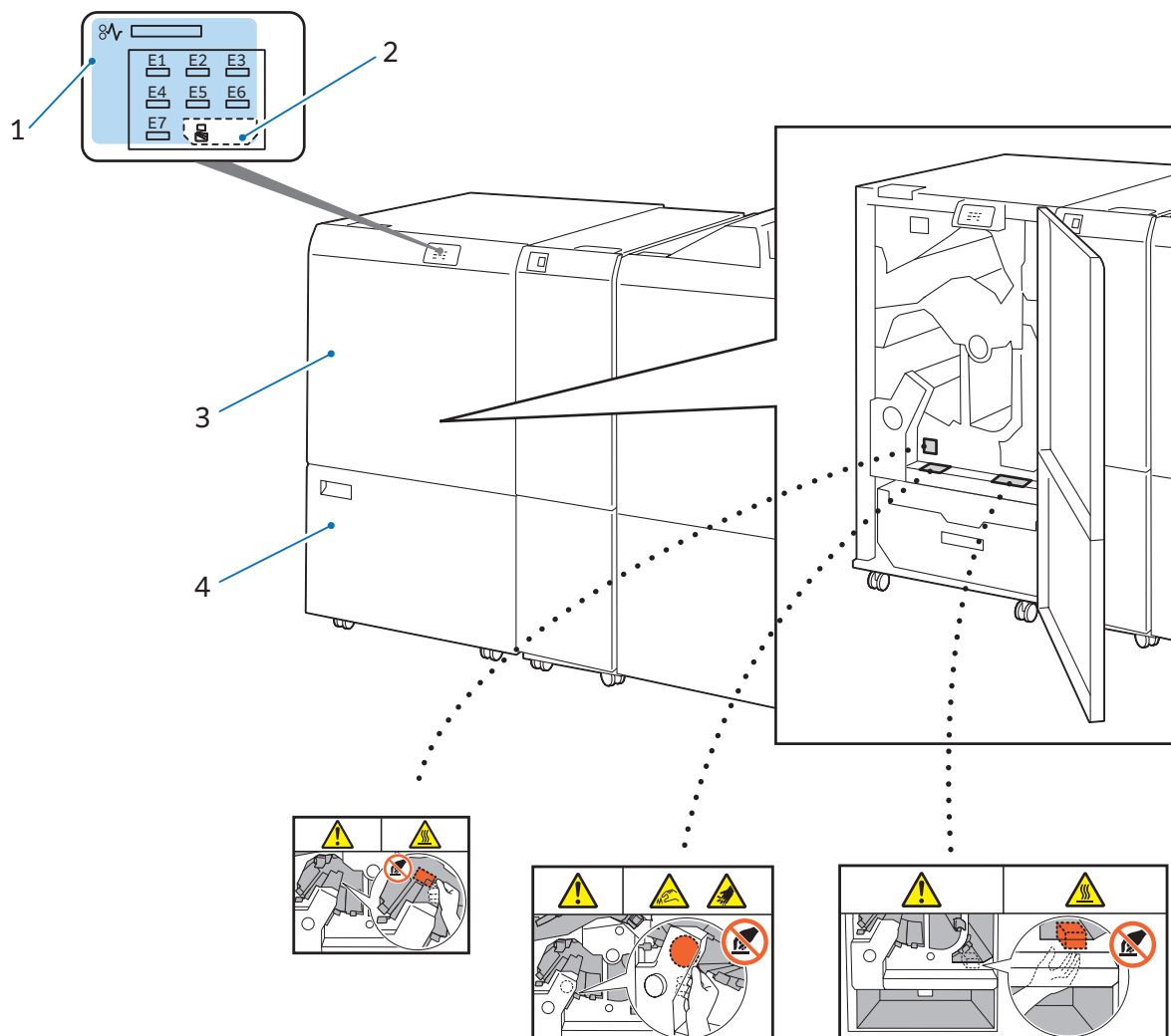
-
2. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

6d 参照

「カール補正」(P.26)

6 天地トリマークリナー

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置

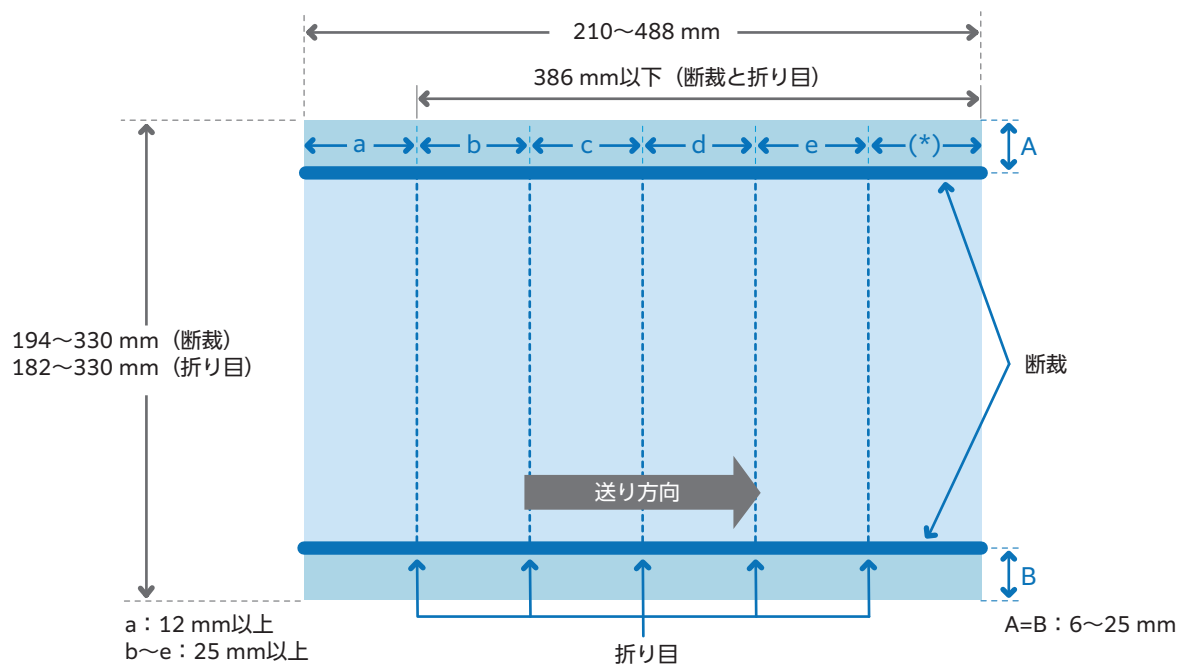


No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	ダストフルランプ	切りくずを捨てる時期になると点灯し、切りくずがいっぱいになると点滅します。
3	上部カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
4	下部カバー	切りくずを捨てるときに、このカバーを開きます。

■ 主な仕様

項目	仕様			
天地断裁	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	A4、レター（8.5×11"）
		非定形サイズ（mm）	たて	194～330
			よこ	210～488（断裁と折り目：～386）
	用紙坪量（g/m ² ）	非コート紙		52～350
		コート紙		106～350
断裁寸法（mm）	6～25 補足 ・最小仕上がり寸法は182 mmです。 ・7 mm以下の断裁では、用紙の断裁面に傷がつくことがあります。 ・断裁後に放置すると、吸湿により用紙が伸びます。吸湿の程度は、用紙ごと（用紙種類、用紙坪量、合紙や表紙と本文、など）に異なるため、同じ寸法で断裁しても、用紙を揃えたときの断面がずれることがあります。			
折り目	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	JIS B5
		非定形サイズ（mm）	たて	182～330
			よこ	210～488（断裁と折り目：～386）
	用紙坪量（g/m ² ）	非コート紙		52～350
		コート紙		106～350
	補足 ・中とじ/二つ折り以外は、157 g/m²以上になります。また、156 g/m²以下の坪量の用紙にも折り目の設定ができますが、折り性能（折り目の位置で手折りが行えること）を保証していません。 ・中とじ/二つ折りの折り目に紙しわが発生するときは、操作パネルで「折り目の圧力」を弱くしてください。			
折り目本数	1～5 補足 よこ：279 mm未満、または450 mm以上の場合、折り目は3本までになります。			
電源	AC 100 V±10%、4 A、50/60 Hz共用			
最大消費電力	400 W			
大きさ（mm）	幅605×奥行725×高さ992			
質量（kg）	128			

断裁と折り目の領域



用紙前端から45 mm未満の場合は、プリントできません。また、用紙前端から62 mm以下の場合、用紙走行性を保証していません。

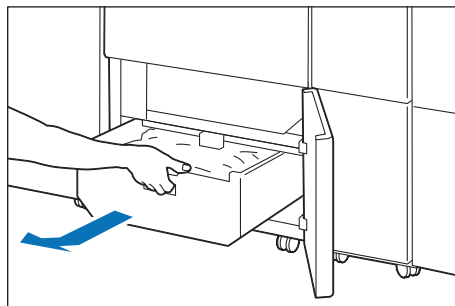
ダストボックス

切りくずを捨てる時期になると、ダストフルランプが点灯します。点灯したら、切りくずを捨ててください。

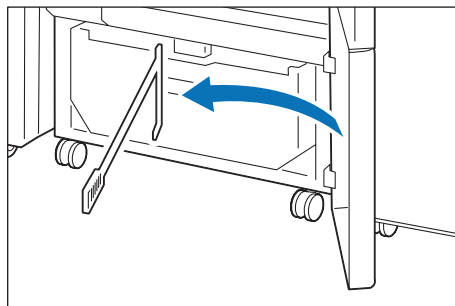
補足

- ・プリント中でもできます。
- ・ダストボックスの切りくずがいっぱいになると、ダストフルランプが点灯から点滅にかわります。

1. 下部カバーを開けます。
2. ダストボックスを引き出します。
3. 切りくずをすべて捨てます。



ダストボックスの奥にあるフレームの下部などに切りくずが落ちていないことを確認します。

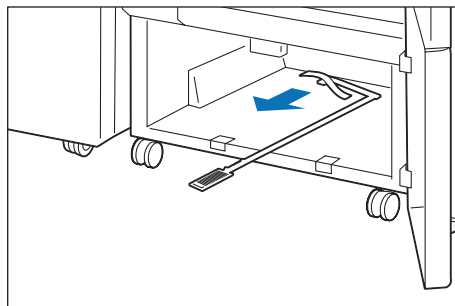


落ちていた切りくずは、くずかき棒を使用して、取り除いてください。

4. ダストボックスを元の位置に差し込みます。

補足

ダストボックスの矢印がフレーム面と重なる位置まで押し込んでください。



5. カバーを閉じます。

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. 上部カバーを開けます。
2. 詰まっている用紙を取り除きます。

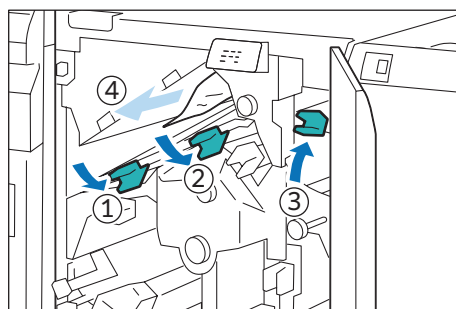
ランプE1が点灯したとき	P.46
ランプE2が点灯したとき	P.47
ランプE3が点灯したとき	P.48
ランプE4が点灯したとき	P.48
ランプE5が点灯したとき	P.49
ランプE6が点灯したとき	P.49
ランプE7が点灯したとき	P.50

■ ランプE1が点灯したとき

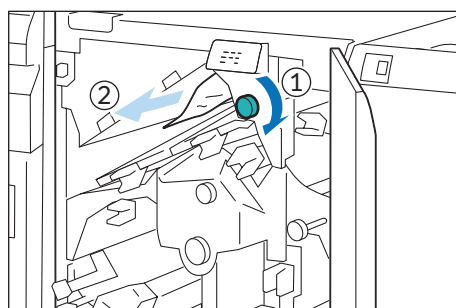
- (1) レバー [1a] を下方向 (①)、レバー [1b] を下方向 (②)、レバー [1d] を上方向に開いて (③)、詰まっている用紙を取り除きます (④)。

補足

詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。



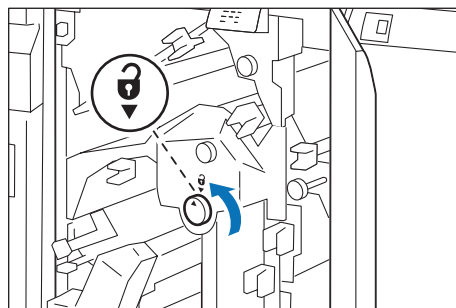
- (2) 用紙が取りづらい場合は、ノブ [1c] を右方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (3) レバー [1a]、レバー [1b]、レバー [1d] を戻します。



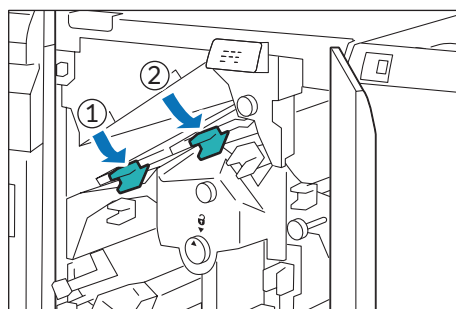
.....

■ ランプE2が点灯したとき

(1) ノブ [2] を左方向に回して、目印の位置に合わせます。

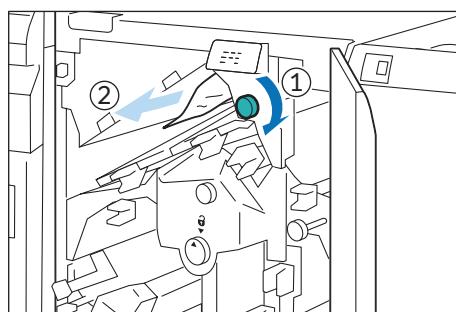


(2) レバー [1a] を下方向 (①)、レバー [1b] を下方向に開きます (②)。

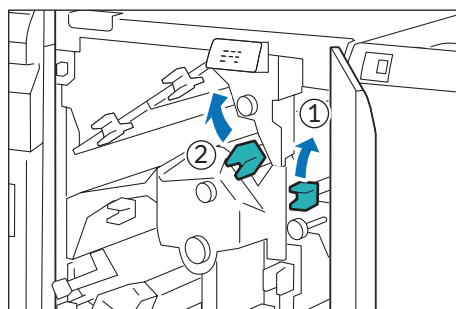


(3) ノブ [1c] を右方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

(4) レバー [1a]、レバー [1b] を戻します。

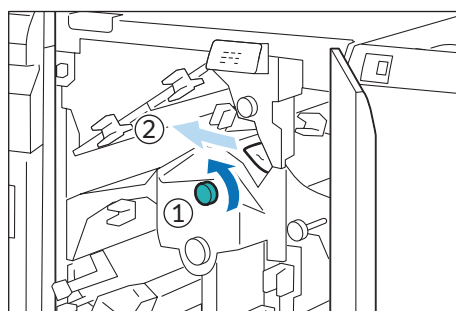


(5) 用紙が取りづらい場合は、レバー [1d] を上方向 (①)、レバー [2a] を左方向に開きます (②)。



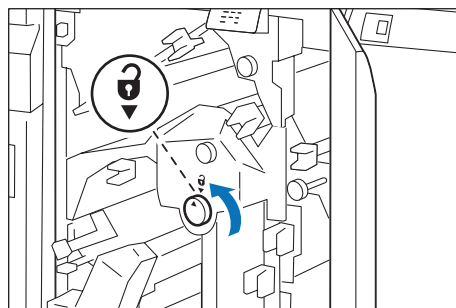
(6) ノブ [2b] を左方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

(7) レバー [1d]、レバー [2a] を戻します。



■ ランプE3が点灯したとき

- (1) ノブ [2] を左方向に回して、目印の位置に合わせます。

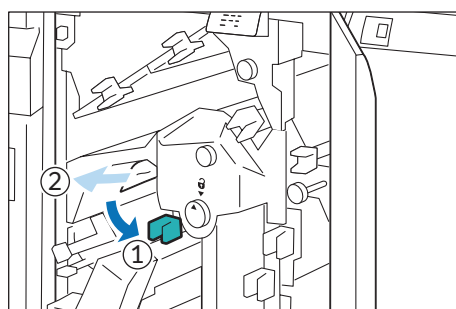


- (2) レバー [2c] を下方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

補足

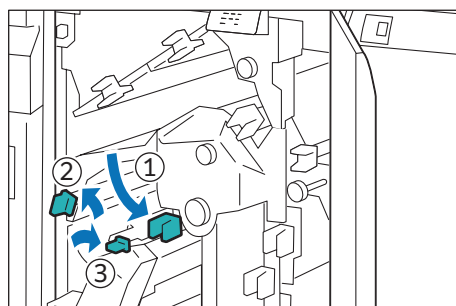
詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。

- (3) レバー [2c] を戻します。

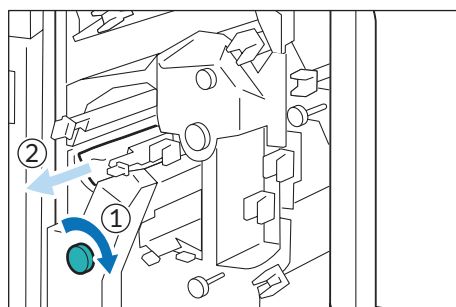


■ ランプE4が点灯したとき

- (1) レバー [2c] を下方向 (①)、レバー [2d] を上方向 (②)、レバー [2e] を右方向に開きます (③)。

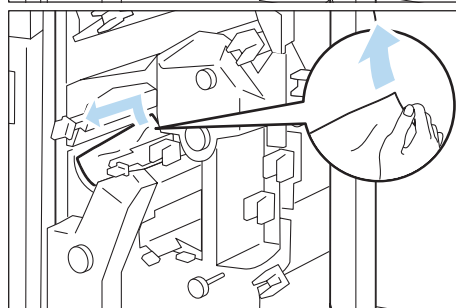


- (2) 用紙先端をつかんで、ノブ [2f] を右方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。



用紙が取りづらい場合は、用紙後端をつかんで、取り除いてください。

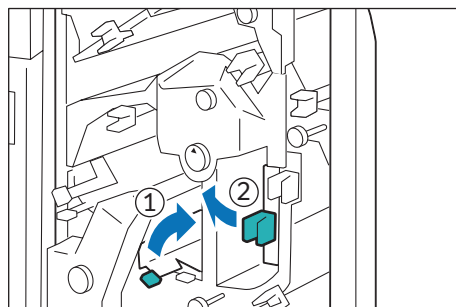
- (3) レバー [2e]、レバー [2d]、レバー [2c] を戻します。



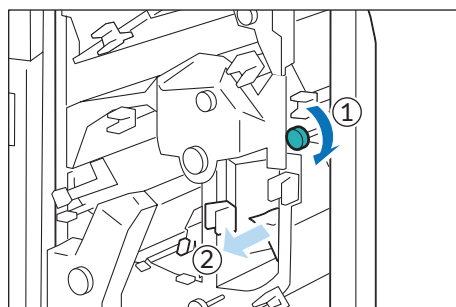
.....

■ ランプE5が点灯したとき

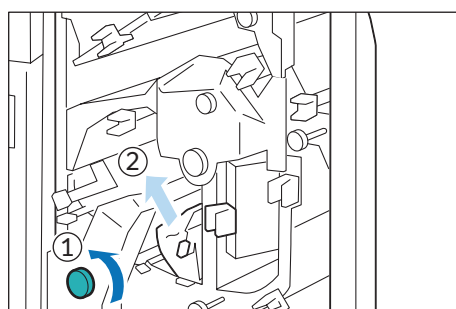
(1) レバー [3a] を右方向 (①)、レバー [3b] を左方向に開きます (②)。



(2) ノブ [3c] を右方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。



(3) ノブ [2f] を左方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

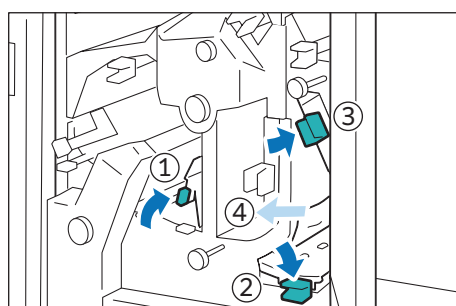


(4) レバー [3a]、レバー [3b] を戻します。

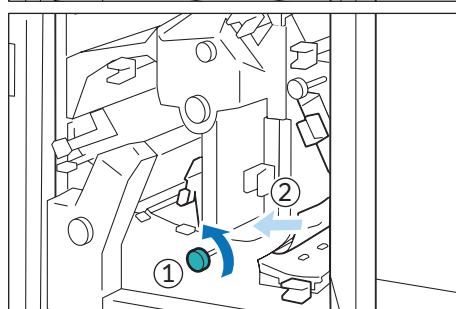
.....

■ ランプE6が点灯したとき

(1) レバー [3a] を右方向 (①)、レバー [4b] を下方向 (②)、レバー [4c] を右方向 (③) に開き、詰まっている用紙を取り除きます (④)。



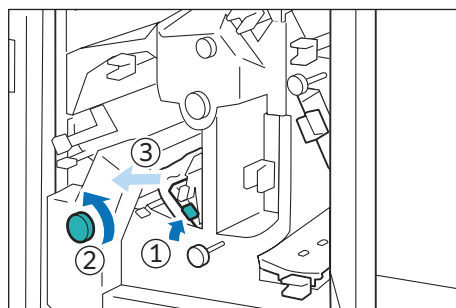
(2) ノブ [4d] を左方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。



- (3) レバー [4a] を右方向に開いて (①)、ノブ [2f] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

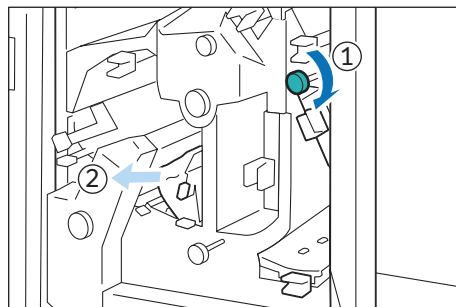
 補足

レバー [4a] は手で持ったまま、ノブ [2f] を回し、用紙を取り除きます。



- (4) ノブ [3c] を右方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

- (5) レバー [3a]、レバー [4b]、レバー [4c] を戻します。



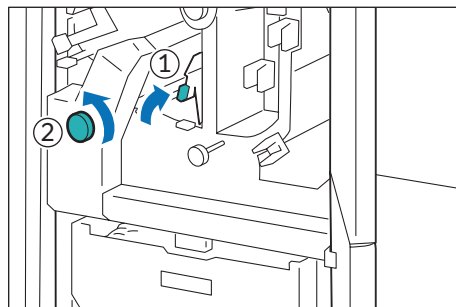
.....

■ ランプE7が点灯したとき

- (1) レバー [3a] を右方向に開いて (①)、ノブ [2f] を左方向に回します (②)。

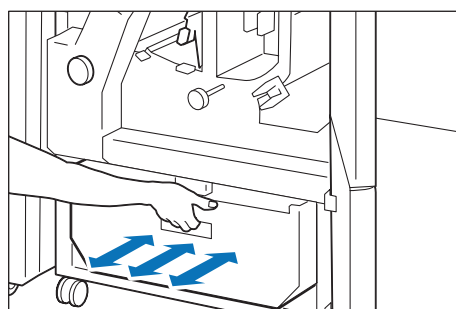
 補足

ノブは必ず、5回以上回してください。



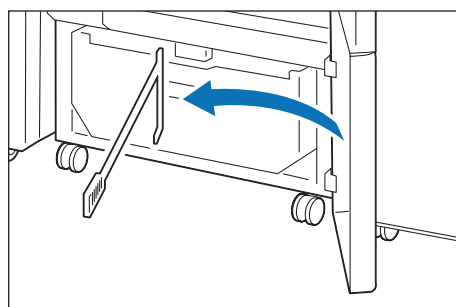
- (2) ダストボックスを3回、抜き差しします。

- (3) レバー [3a] を戻します。

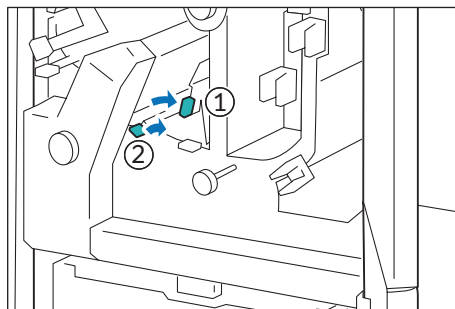


■ 消灯しない場合

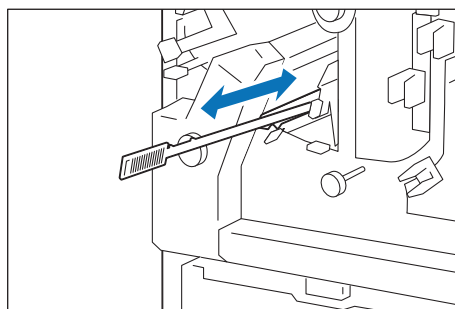
- (1) カバーの内側にある、くずかき棒をはずします。



- (2) レバー [3a] を右方向 (①)、レバー [3d] を右方向に開きます (②)。



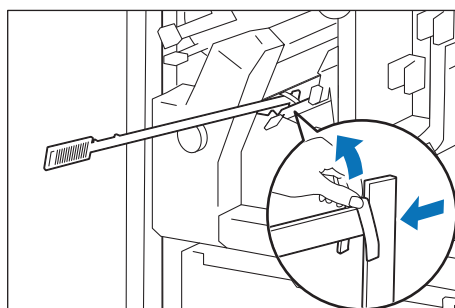
- (3) トリマーユニット周辺の切りくずを、くずかき棒でダストボックスに落とします。



- (4) 切りくずがダストボックスに落ちない場合は、くずかき棒でくずを移動させ、手で取り除きます。

- (5) レバー [3a]、レバー [3d] を戻します。

- (6) ダストボックスの奥にあるフレームの下部などに切りくずが落ちていないことを確認します。
落ちていない切りくずは、くずかき棒を使用して、取り除いてください。



6d 参照

「ダストボックス」(P.45)

3. カバーを閉じます。

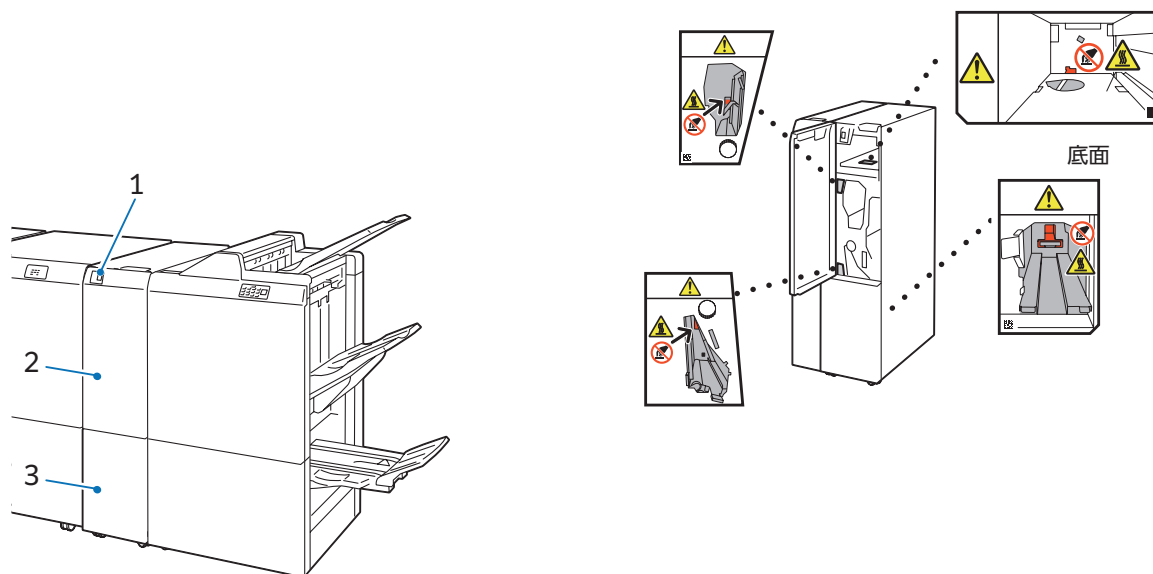
4. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

6d 参照

「カール補正」(P.26)

7 紙折りユニット

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置



No.	名称	説明
1	三つ折り排出トレイボタン	三つ折り排出トレイから用紙を取り出すとき、このボタンを押します。ランプの点滅が点灯に変わり、ロックが解除されたら、三つ折り排出トレイが開きます。
2	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
3	三つ折り排出トレイ	三つ折りの場合、このトレイにだけ排出できます。

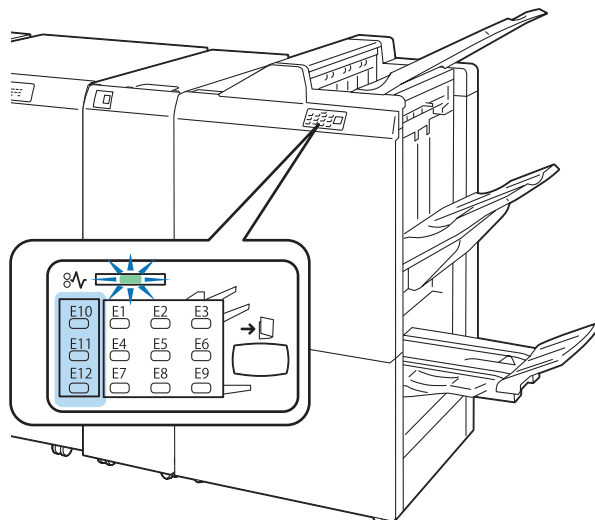
■主な仕様

項目	仕様		
Z折り	用紙サイズ ^a	A3、11×17"、八開、JIS B4	
	用紙坪量 (g/m ²)	CD2	60～90 (非コート紙)
		CD3	64～90 (非コート紙)
三つ折り	用紙サイズ	A4、レター (8.5×11")	
	用紙坪量 (g/m ²)	CD2	60～90 (非コート紙)
		CD3	64～90 (非コート紙)
トレイ容量 (枚)	30		
電源	AC 100 V±10%、1 A、50/60 Hz共用		
最大消費電力	100 W		
大きさ (mm)	CD2	幅232×奥行725×高さ992	
	CD3	幅232×奥行588×高さ992	
質量 (kg)	CD2	55	
	CD3	52	

用紙が詰まった場合

補足

CD2では、フィニッシャー上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。



用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は［スタート］をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. カバーを開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

ランプE10が点灯したとき..... P.53

ランプE11が点灯したとき..... P.54

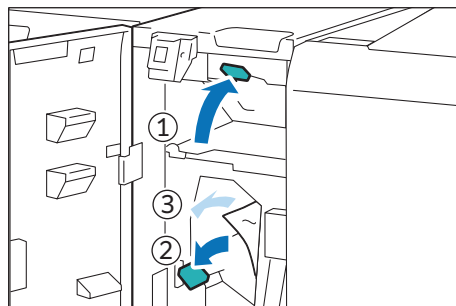
ランプE12が点灯したとき..... P.54

.....

■ ランプE10が点灯したとき

(1) レバー [2a] を上方向 (①)、レバー [2b] を左方向に開いて (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

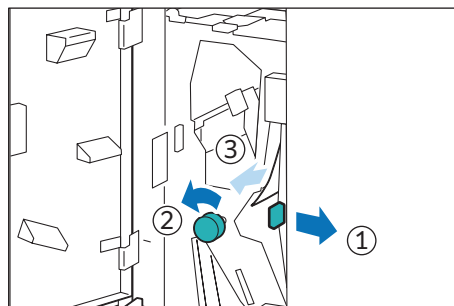
(2) レバー [2a]、レバー [2b] を戻します。



.....

■ ランプE11が点灯したとき

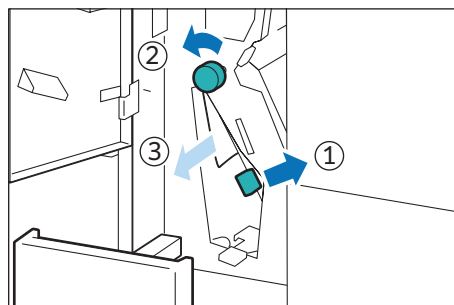
- (1) レバー [2g] を右方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (2) レバー [2g] を戻します。



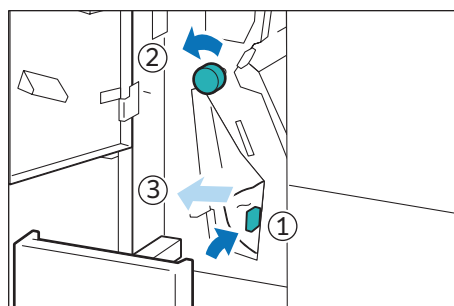
.....

■ ランプE12が点灯したとき

- (1) 三つ折り排出トレイ [2d] を引き出します。
- (2) レバー [2e] を右方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (3) レバー [2e] を戻します。



- (4) 用紙が取りづらい場合は、レバー [2f] を右方向に開いて (①)、ノブ [2c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
- (5) レバー [2f] を戻します。
- (6) 三つ折り排出トレイ [2d] を元の位置に差し込みます。



-
3. カバーを閉じます。
 4. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

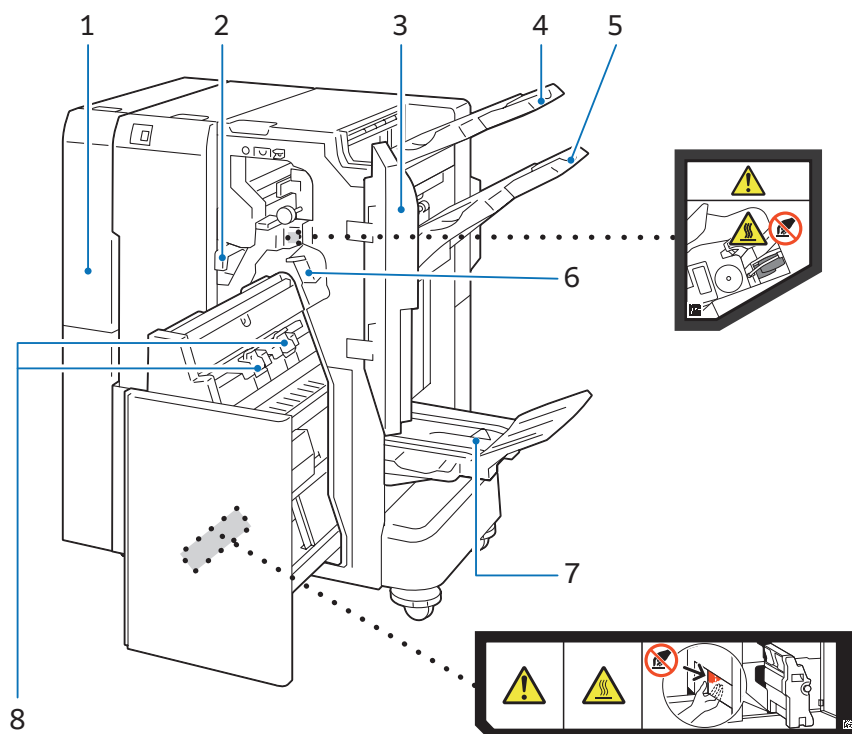
68 参照

「カール補正」(P.26)

8 フィニッシャーC

本文中では、「フィニッシャーC4/C5」、「中とじフィニッシャーC4/C5」を総称して「フィニッシャーC」と記載しています。

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置



No.	名称	説明
1	トランスポートユニットVフロントカバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
2	パンチダストボックス	パンチした切りくずが入ります。 68 参照 ダストボックスの切りくずを捨てる方法は、装置に貼り付けられているラベルを参照してください。
3	カバー	紙詰まりの処置、ホチキスカートリッジの交換や針づまりの処置、パンチ穴の切りくずを捨てるときに、このカバーを開きます。
4	排出トレイ	用紙が排出されます。
5	フィニッシャートレイ	平とじ処理された用紙が排出されます。
6	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。
7	製本トレイ	中とじ/二つ折り処理された用紙が排出されます。
8	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。2個あります。

■ 主な仕様

項目	仕様			
トレイ形式	排出トレイ	ソート（オフセット可）/スタック（オフセット可）		
	フィニッシャートレイ	ソート（オフセット可）/スタック（オフセット可）		
	製本トレイ	ソート/スタック		
用紙サイズ	排出トレイ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	郵便はがき（日本郵便製）
		非定形サイズ (mm)	たて	100～330
			よこ	148～1,300
	フィニッシャートレイ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	A5 
		非定形サイズ (mm)	たて	203～330
			よこ	148～488
製本トレイ	中とじ/二つ折りに準ずる			
用紙坪量（g/m ² ）	排出トレイ	非コート紙	52～350	
		コート紙	106～350	
	フィニッシャートレイ	非コート紙	52～350	
		コート紙	106～350	
	製本トレイ	中とじ/二つ折りに準ずる		
トレイ容量	排出トレイ	500枚		
	フィニッシャートレイ （ステープルなし）（枚）	A4 	3,000 （中とじフィニッシャーでは、1,500）	
		JIS B4 以上	1,500	
		A5	1,000	
		ミックススタック	300	
	フィニッシャートレイ （ステープルあり）	A4 	200部、または3,000枚 （中とじフィニッシャーでは、1,500枚）	
		JIS B4 以上	100部、または1,500枚	
		A5	100部、または1,000枚	
		ミックススタック	70部、または200枚	
	製本トレイ	20部		
 補足 ミックススタックとは、JIS B5の上にA4、A4の上にJIS B4のように、小さなサイズの下紙の上に、大きなサイズの下紙が蓄積された状態を指します。				
ステープル 針あり	最大枚数（枚）	50		
	 補足 65枚ステープルユニットを取り付けると、最大65枚まで可能です。			
	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	A5 
	用紙坪量（g/m ² ）	非コート紙	52～350	
コート紙		106～350		
ステープル箇所	1か所、2か所			

項目	仕様			
ステーブル 針なし	最大枚数（枚）	10（同一坪量、同一サイズ）		
	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	A5 
	用紙坪量（g/m ² ）	60～105（非コート紙）		
	ステーブル箇所	1か所、2か所		
パンチ （パンチユニット付き）	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	A5 
	用紙坪量（g/m ² ）	非コート紙		52～220
		コート紙		106～220
	パンチ数	2穴/4穴、または2穴/3穴（US 規格）  補足 処理可能なパンチ穴数は、用紙サイズによって異なります。		
中とじ/二つ折り	最大枚数（枚）	中とじ		20
		二つ折り		5
	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	JIS B5 
		非定形サイズ（mm）	たて	182～330
			よこ	257～457
	用紙坪量（g/m ² ）	非コート紙		64～300
コート紙		106～220		
電源	本体から供給			
大きさ（mm）	フィニッシャー	幅644×奥行692×高さ1,054		
	中とじフィニッシャー	幅649×奥行692×高さ1,054		
	トランスポートユニットV	幅127×奥行589×高さ1,054		
質量（kg）	フィニッシャー	C4	37+3（パンチユニット）	
		C5	42+3（パンチユニット）	
	中とじフィニッシャー	C4	50+3（パンチユニット）	
		C5	55+3（パンチユニット）	
	トランスポートユニットV			8

ステープル可能枚数（目安値）

用紙坪量 (g/m ²)	平とじ				中とじ			
	ステープル		針なしステープル		非コート紙	コート紙		
	非コート紙	コート紙	非コート紙	コート紙				
52～59	50/65	×	×	×	20*	×		
60～71			10					
72～80			7					
81～90			6					
91～105	30				7			
106～128	25	15	×		7			
129～150	20	10						
151～176	15	7						
177～220	10	5			5			
221～256	3	3					3	
257～300								
301～350					×			
*：(52～63 g/m ²) ステープルは可能ですが、とじ精度と用紙走行性を保証していません。 ×：排出できません。								

- 針なしステープルは、針ありステープルと同等のとじ力はありません。
- 針なしステープルは、用紙、気温や湿度、めくり方によって、とじ部分がはがれやすくなる場合があります。

ホチキスカートリッジ

■ホチキスカートリッジの交換

弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

消耗品の発注は、商品コードを確認のうえ、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご注文ください。

消耗品の交換時期になると、操作パネルにメッセージが表示されます。指示された消耗品を交換してください。

交換の方法は装置に貼り付けられているラベルに記載された手順を参照してください。

注記

不要となった消耗品は適切な処理が必要です。消耗品は、無理に開けたりせず、必ず弊社、または販売店にお渡しください。

補足

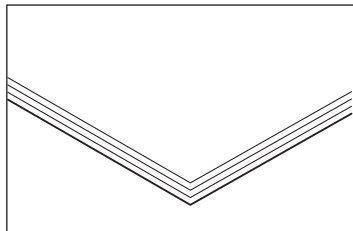
- 消耗品を交換するときは、電源が入った状態で行ってください。
- ホチキス針を使い切ってから交換してください。

針が詰まった場合

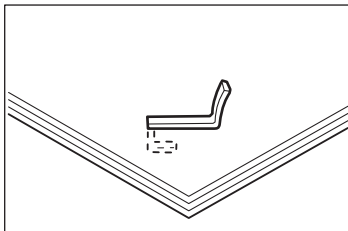
ホチキス針が打たれなかったり、ホチキス針が曲がって留められていたりしたら、次ページ以降の手順に従って処置します。

処置しても改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

針が打たれない

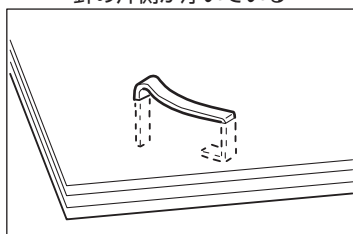


針が曲がって留められている

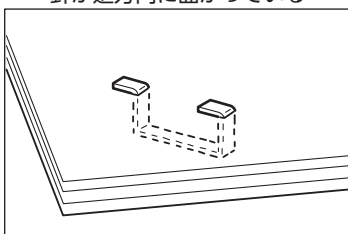


次のようにホチキス針が打たれているときは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

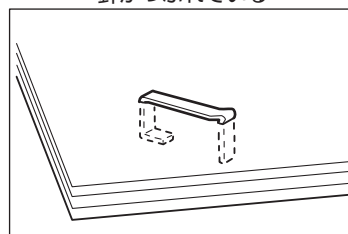
針の片側が浮いている



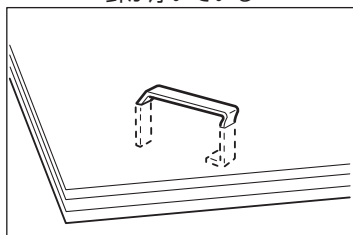
針が逆方向に曲がっている



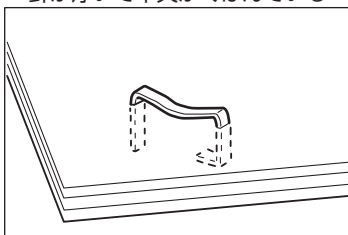
針がつぶれている



針が浮いている



針が浮いて中央がくぼんでいる



⚠ 注意

詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

補足

- 用紙の種類など使用条件によっては、ホチキス針が曲がって留められていたり、曲がったホチキス針がユニット内に引っかかったりして、紙詰まりの原因となることがあります。
- ホチキスカートリッジのカバーを開いた場合は、すべての曲がったホチキス針を必ず取り除いてください。曲がったホチキス針を取り除かないと、針詰まりの原因となります。ホチキスカートリッジのカバーは、詰まったホチキス針を取り除くときだけ開けてください。

平とじ用ホチキスカートリッジ

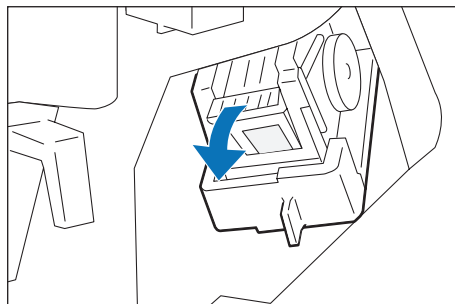
1. タッチパネルディスプレイで【機械確認（メーター確認）】>【消耗品確認】>【ホチキスカートリッジ（R1）】>【確認/補給】をタップします。
2. 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。

3. レバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

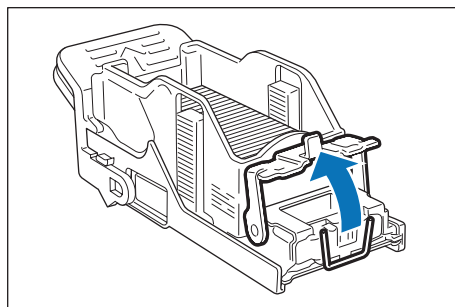


65枚ステープルユニットでは、レバーを下方向に倒して、ホチキスカートリッジを取り出します。

4. フィニッシャー内部にホチキス針がないか確認します。



5. ホチキスカートリッジの金属部分を押し上げます。

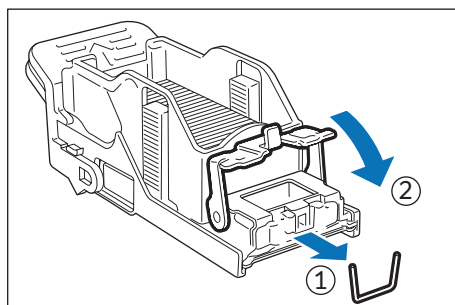


6. 詰まっているホチキス針を取り除き (①)、押し上げた金属部分を元に戻します (②)。

7. ホチキスカートリッジを元の位置に差し込みます。

レバーを持ち、カチッと音がするまで軽く押し上げます。

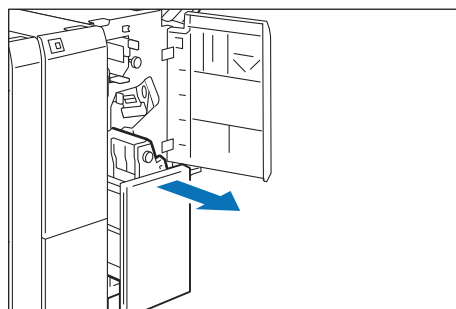
8. カバーを閉じます。



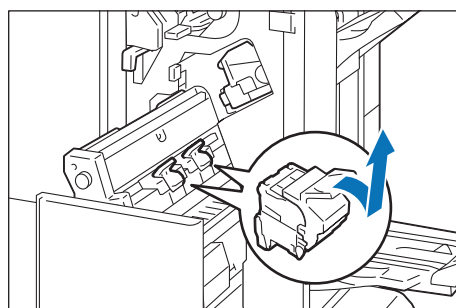
中とじ用ホチキスカートリッジ

1. 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。

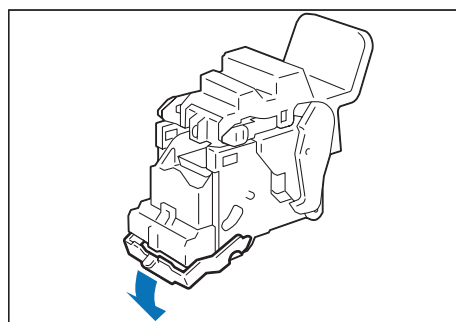
2. 中とじユニット [4] を引き出します。



3. ホチキスカートリッジ (R2) (R3) のレバーを持ち、そのまま引き抜きます。



4. 詰まっているホチキス針を取り除きます。



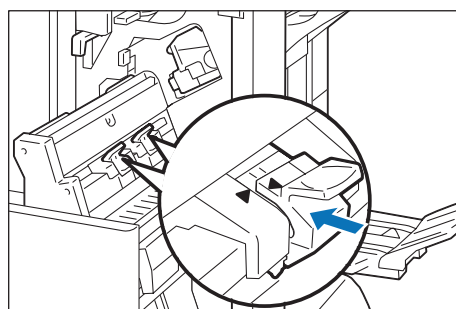
5. ホチキスカートリッジを元の位置に差し込みます。
レバーを持ち、カチッと音がするまで軽く押し上げます。

 補足

▲マークが合うようにします。

6. 中とじユニット [4] を押し込みます。

7. カバーを閉じます。



用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

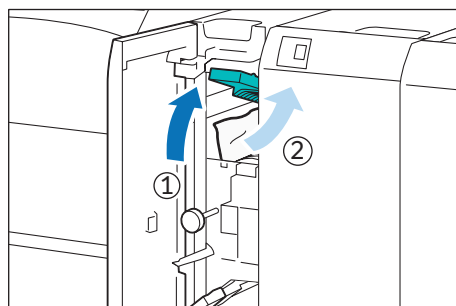
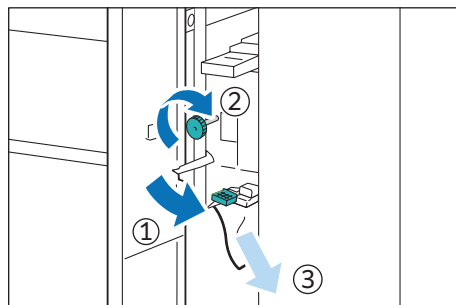
紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

■ トランスポートユニット

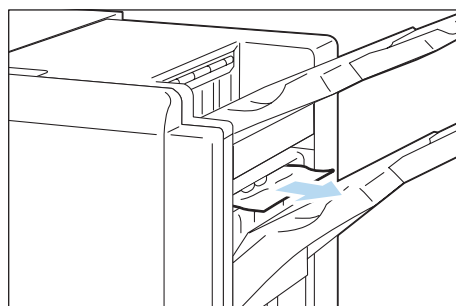
1. カバーを開きます。
2. レバー [1c] を右方向に開いて (①)、ノブ [1b] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
3. レバー [1c] を戻します。
4. 用紙が取りづらい場合は、レバー [1a] を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
5. レバー [1a] を戻します。
6. カバーを閉じます。



■ 排出口

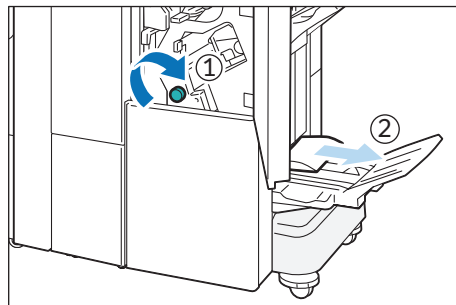
■ フィニッシャーレイ

- (1) 排出口に詰まっている用紙を取り除きます。



■ 製本トレイ

- (1) カバーを開けます。
- (2) 排出口に詰まっている用紙を右方向に取り除きます。
- (3) 用紙が取りづらい場合は、ノブ [4a] を右方向に回し (①)、排出口に詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (4) カバーを閉じます。

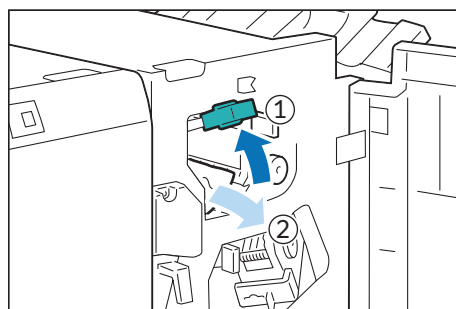


■ カバー内部

1. カバーを開きます。

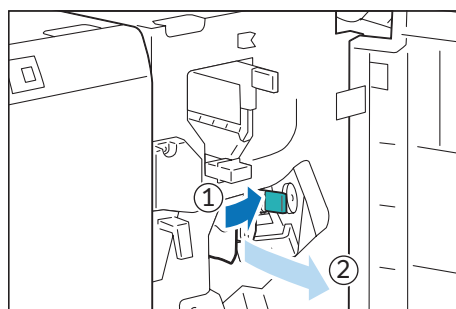
■ レバー [3a]

- (1) レバー [3a] を上方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (2) レバー [3a] を戻します。



■ レバー [3d]

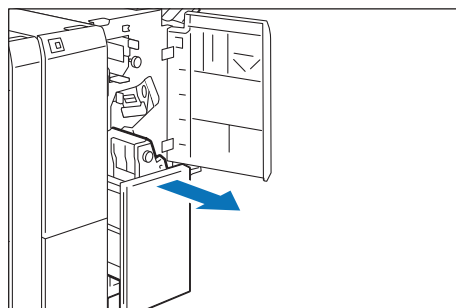
- (1) レバー [3d] を右方向に開き (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (2) レバー [3d] を戻します。



.....

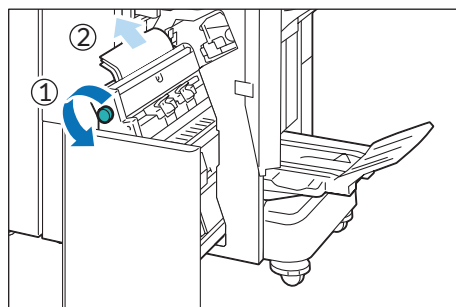
■ 中とじユニット

(1) 中とじユニット [4] を引き出します。



(2) ノブ [4a] を左方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

(3) 中とじユニット [4] を押し込みます。



.....

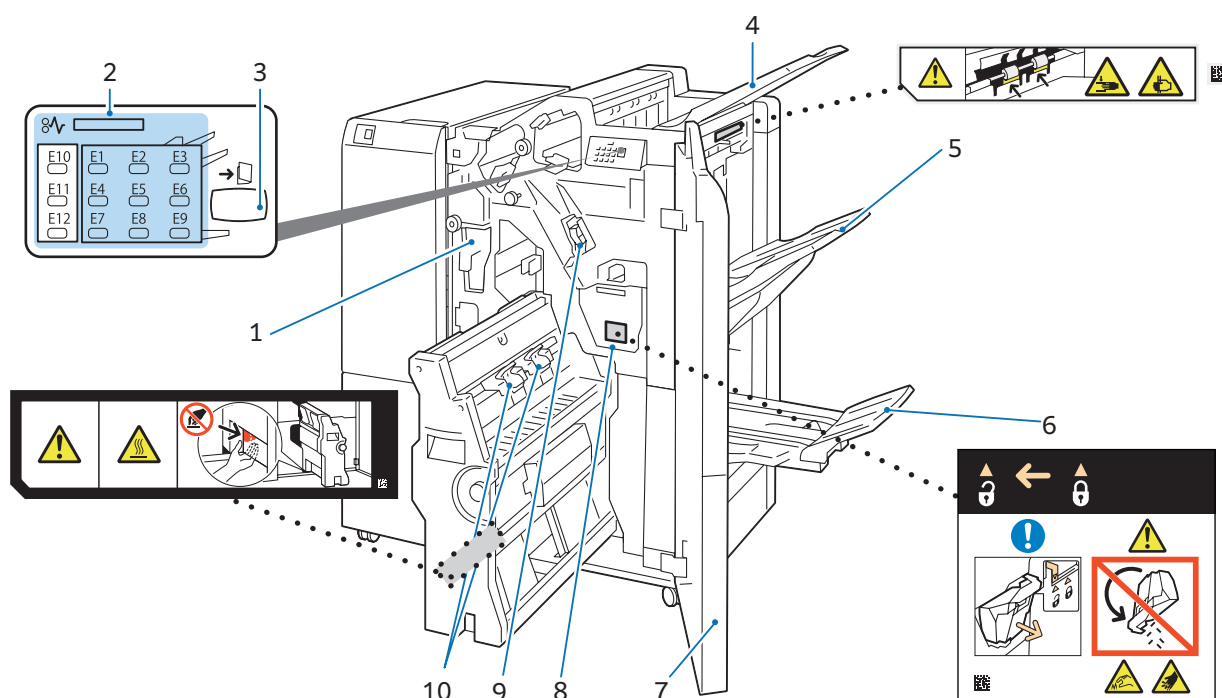
2. カバーを閉じます。

9 フィニッシャーD

本文中では、「フィニッシャーD6」、「中とじフィニッシャーD6」を総称して「フィニッシャーD」と記載しています。

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置

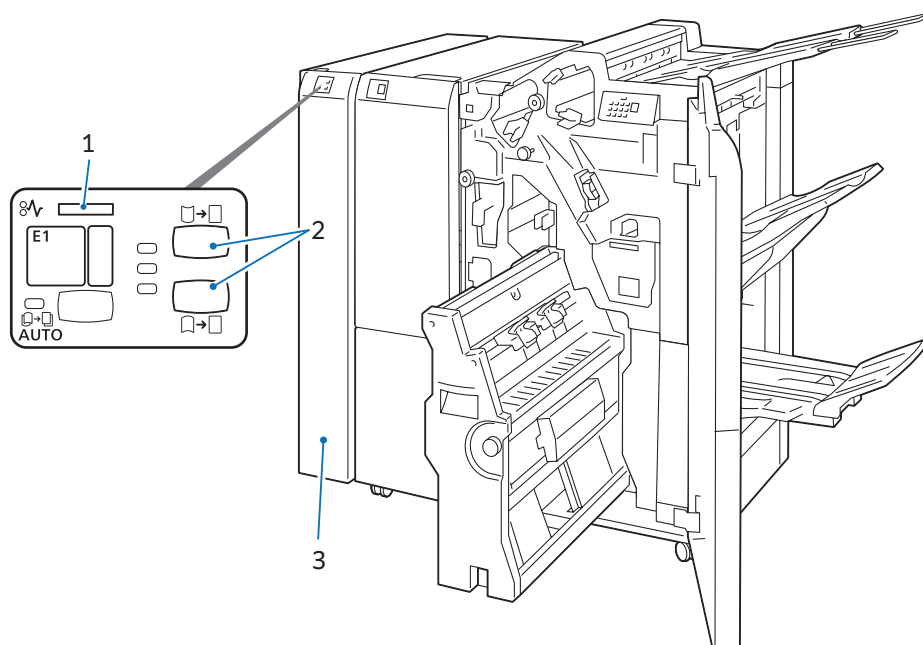
フィニッシャー



No.	名称	説明
1	パンチダストボックス	パンチした切りくずが入ります。 68 参照 ダストボックスの切りくずを捨てる方法は、装置に貼り付けられているラベルを参照してください。
2	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
3	製本排出ボタン	ボタンを押すと、製本トレイに排出された用紙が取り出し位置まで移動します。 補足 小口トリマーフォールダーが取り付けられている場合、ボタンを押すと、小口トリマーフォールダーの製本トレイの取り出し位置まで移動します。
4	排出トレイ	用紙が排出されます。
5	フィニッシャートレイ	平とじ処理された用紙が排出されます。 補足 下向きカールが大きい用紙を2,000枚以上排出した場合、用紙が崩れることがあります。 この場合、インターフェイスデカーラーのカール補正を一番下、インターポーザーのカール補正を下にしてください。

No.	名称	説明
6	製本トレイ	中とじ/二つ折り処理された用紙が排出されます。 補足 小口トリマーフォールダーが取り付けられている場合、小口トリマーフォールダーに取り付けられます。
7	カバー	紙詰まりの処置、ホチキスカートリッジの交換や針づまりの処置、パンチ穴の切りくずを捨てるときに、このカバーを開きます。
8	ホチキスダストボックス	ホチキスの針くずが入ります。
9	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。
10	中とじ用ホチキスカートリッジ	中とじ用のホチキス針を交換するためのユニットです。2個あります。

インターフェイスモジュール



No.	名称	説明
1	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。 優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。
2	カール補正ボタン	補正方法は、インターフェイスデカーラーと同じです。ただし、補正の度合いは、OFF/上向き/下向きの3段階になります。 参照 「カール補正」(P.26)
3	カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。

■ 主な仕様

項目	仕様			
トレイ形式	排出トレイ	ソート/スタック		
	フィニッシャートレイ	ソート（オフセット可）/スタック（オフセット可）		
	製本トレイ	ソート/スタック		
用紙サイズ	排出トレイ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	郵便はがき（日本郵便製）
		非定形サイズ（mm）	たて	100～330
			よこ	148～488（長尺用延長キット取り付け時：1,300）
	フィニッシャートレイ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	A5
		非定形サイズ（mm）	たて	148～330
			よこ	148～488
	製本トレイ	中とじ/二つ折りに準ずる		
用紙坪量（g/m ² ）	排出トレイ	非コート紙	52～350	
		コート紙	106～350	
	フィニッシャートレイ	非コート紙	52～350	
		コート紙	106～350	
	製本トレイ	中とじ/二つ折りに準ずる		
トレイ容量	排出トレイ	500枚		
	フィニッシャートレイ（ステープルなし）（枚）	A4 	3,000 （中とじフィニッシャーでは、2,000）	
		JIS B4 以上	1,500	
		ミックススタック	350	
	フィニッシャートレイ（ステープルあり）	A4 	200部、または3,000枚 （中とじフィニッシャーでは、2,000枚）	
		JIS B4 以上	100部、または1,500枚	
	製本トレイ	20部（1部16枚）		
	 補足 ミックススタックとは、JIS B5の上にA4、A4の上にJIS B4のように、小さなサイズの下紙の上に、大きなサイズの下紙が蓄積された状態を指します。			
ステープル	最大枚数（枚）	100		
		 補足 A4、レター（8.5×11"）よりも大きいサイズの場合は、65枚となります。		
	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	A5 
	用紙坪量（g/m ² ）	非コート紙	52～350	
コート紙		106～350		
ステープル箇所	1か所、2か所、4か所			

項目	仕様			
パンチ (パンチユニット 付き)	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	JIS B5
	用紙坪量 (g/m ²)	非コート紙		52～220
		コート紙		106～220
	パンチ数	2穴/4穴、または2穴/3穴 (US 規格)		
補足 処理可能なパンチ穴数は、用紙サイズによって異なります。				
中とじ/二つ折り	最大枚数 (枚)	中とじ		30
		二つ折り		5
	用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
			最小	JIS B5
		非定形サイズ (mm)	たて	182～330
			よこ	257～488
	用紙坪量 (g/m ²)	非コート紙		60～350
		コート紙		106～350
電源	フィニッシャー	AC 100 V±10%、3 A、50/60 Hz共用		
	インターフェイスモジュール	フィニッシャーから供給		
最大消費電力	300 W			
大きさ (mm)	フィニッシャー	幅855×奥行725×高さ1,200		
	中とじフィニッシャー	幅892×奥行725×高さ1,200		
	インターフェイスモジュール	幅165×奥行725×高さ992		
補足 長尺用延長キット取り付け時は、次のようになります。 ・ 排出トレイの角度「B」 + 長尺用延長キット：幅+281×奥行±0×高さ+222 ・ 排出トレイの角度「A」 + 長尺用延長キット + うす紙収納用ワイヤー：幅+387×奥行±0×高さ+71				
質量 (kg)	フィニッシャー	85+6 (パンチユニット) + 2 (長尺用延長キット)		
	中とじフィニッシャー	105+6 (パンチユニット) + 2 (長尺用延長キット)		
	インターフェイスモジュール	25		

ステープル可能枚数（目安値）

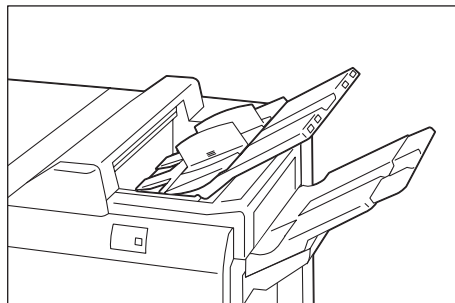
用紙坪量（g/m ² ）	平とじ				中とじ	
	A4サイズ以下の場合		A4サイズを超える場合		非コート紙	コート紙
	非コート紙	コート紙	非コート紙	コート紙		
52～59	100	35*	65	35*	30*	25*
60～71					30	
72～80						
81～90						
91～105	50	30*	50	30*	20	20*
106～128		30	45	30	15	
129～150	20	20	20	20	10	
151～176						
177～220					5	
221～256					4	
257～300	10	10	10	10	3	
301～350						
*：ステープルは可能ですが、とじ精度と用紙走行性を保証していません。						

用紙の排出

■ 排出トレイ

積載ガイド

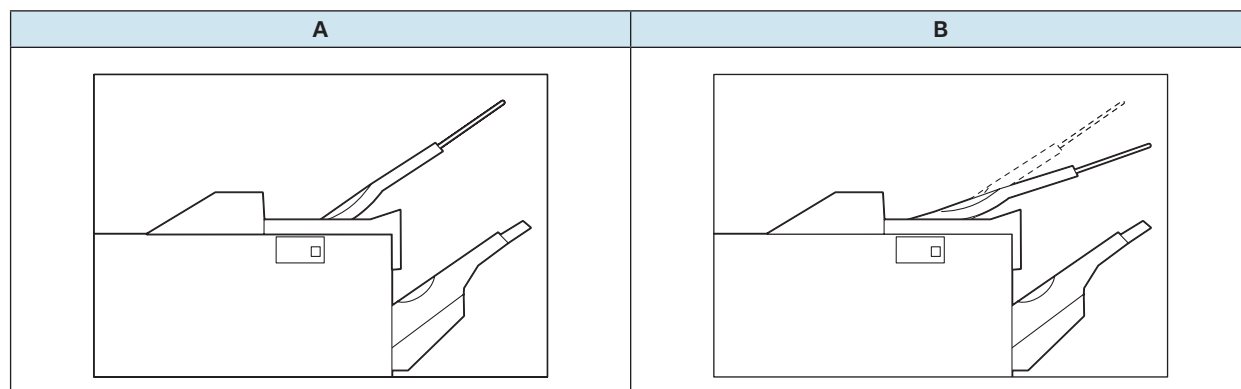
封筒を使用するときは、排出トレイに重ねます。



角度変更

排出された用紙が排出口に残り、すぐに用紙満杯が検知されるときは、角度を変更します。特に次の場合、用紙フルが検知されやすいので、Bの位置に角度を変更します。

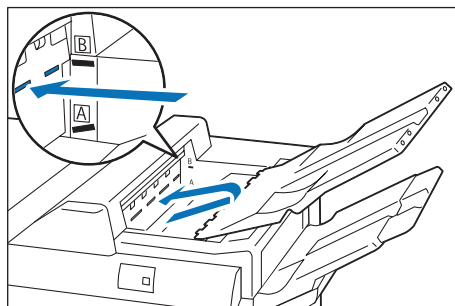
- うす紙コート紙
- よこ：364 mm以上のコート紙
- 長尺用紙



排出トレイを右側に引いて下側の固定位置（A）から抜き、トレイ先端のツメを、上側の固定位置（B）に差し込みます。

補足

- 通常は、下側の固定位置にしておいてください。排出口上側の固定位置のままにしておくと、排出トレイから用紙が落下したり、フィニッシャートレイへの排出時に紙詰まりが発生したりすることがあります。
- 用紙がカールしていると、角度変更の効果が得られません。



■ 長尺用延長キット

長尺用紙の先端を垂れ下げずに収納できます。

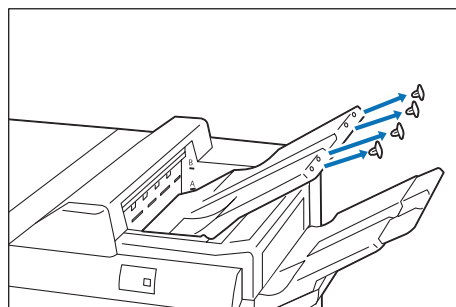
用紙サイズ (mm)	トレイ容量 (枚)
たて：210～330 よこ：489～1,300	～660 mm：150 ～729 mm：100 730 mm～：10

注記

トレイ容量を超える用紙を積載すると、延長トレイが破損するおそれがあります。

■ 延長トレイ

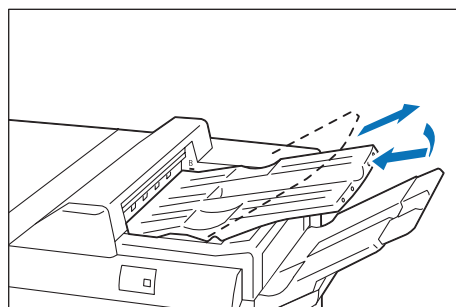
- (1) 排出トレイ裏側からキャップをつまみながら押して、排出トレイの先端にあるキャップ（4か所）を外します。



- (2) 排出トレイの角度を上側の固定位置（B）にします。

補足

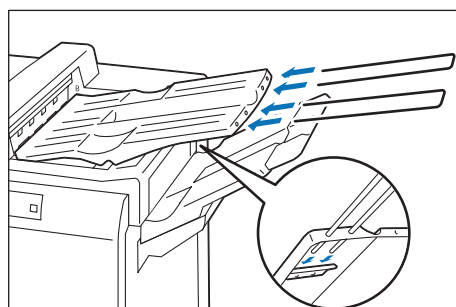
たて：256 mm以下の用紙は、下側の固定位置（A）にしてください。



- (3) 延長トレイ（2本）をいっぱいまで差し込みます。

補足

トレイ裏側にあるガイドの上を通るようにして、突き当たるまで差し込みます。



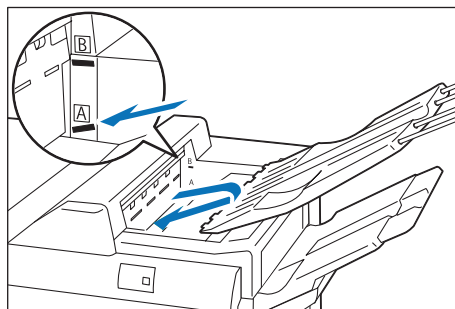
■ うす紙収納用ワイヤー

うす紙の収納がうまく行かないときは、ワイヤーを取り付けます。

補足

- ・トレイ容量は10枚です。
- ・たて：256 mm以下の用紙は使用できません。
- ・対応している用紙坪量は、82～209 g/m²です。

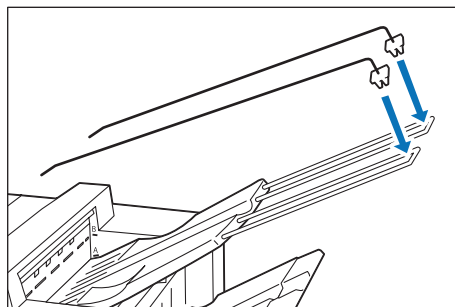
(1) 排出トレイの角度を下側の固定位置 (A) にします。



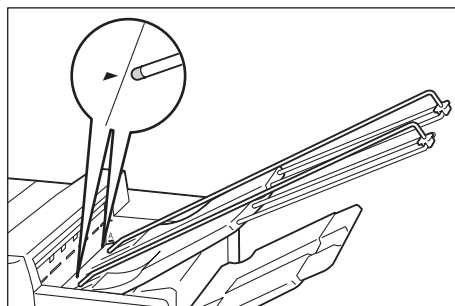
(2) 延長トレイにワイヤーを取り付けます。

補足

延長トレイを手で持ちながら、固定具をしっかりと押し込んで、延長トレイからワイヤーが外れないことを確認してください。

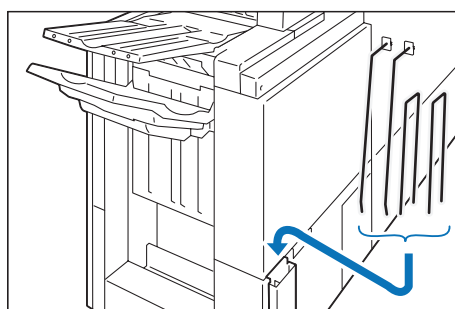


(3) ▲マークに合わせて、ワイヤーの位置を調整します。



■ 使用しないとき

フィニッシャー背面の収納ケースに格納します。



用紙がカールしているとき

- A5Pで、上向きにカールしていると、紙詰まりが発生することがあります。
インターフェイスモジュールの場合：インターフェイスモジュールのカール補正を上 に します。
インターフェイスデカーラー+インターポーザーの場合：インターフェイスデカーラーのカール補正を一番上、インターポーザーのカール補正を上 に します。
- 厚紙で下向きにカールしていると、紙詰まりが発生することがあります。
インターフェイスモジュールの場合：インターフェイスモジュールのカール補正を下 に します。
インターフェイスデカーラー+インターポーザーの場合：インターフェイスデカーラーのカール補正を一番下、インターポーザーのカール補正を下 に します。
- 157 g/m²以上の用紙で、上向きにカールしていると、紙詰まりが発生することがあります。
インターフェイスモジュールの場合：インターフェイスモジュールのカール補正を上 に します。
インターフェイスデカーラー+インターポーザーの場合：インターフェイスデカーラーのカール補正を一番上、インターポーザーのカール補正を上 に します。

参照

「カール補正」(P.26)

ホチキスカートリッジ

■ホチキスカートリッジ/ホチキスダストボックスの交換

弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

消耗品の発注は、商品コードを確認のうえ、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご注文ください。

消耗品の交換時期になると、操作パネルにメッセージが表示されます。指示された消耗品を交換してください。

交換の方法は消耗品の箱（またはラベル）に記載された手順を参照してください。

注記

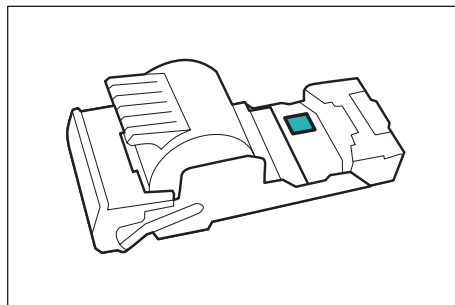
不要となった消耗品は適切な処理が必要です。消耗品は、無理に開けたりせず、必ず弊社、または販売店にお渡しください。

補足

消耗品を交換するときは、電源が入った状態で行ってください。

■平とじ用ホチキスカートリッジ

ホチキス針を使い切ってから交換してください。ホチキス針の有無は残量窓で確認できます。

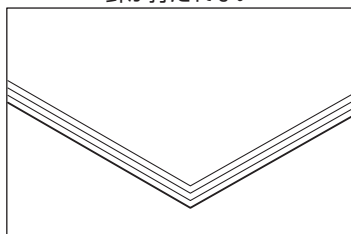


針が詰まった場合

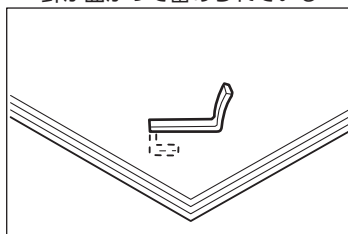
ホチキス針が打たれなかったり、ホチキス針が曲がって留められていたりしたら、次ページ以降の手順に従って処置します。

処置しても改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

針が打たれない

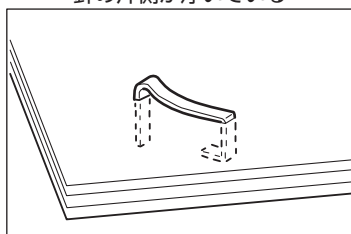


針が曲がって留められている

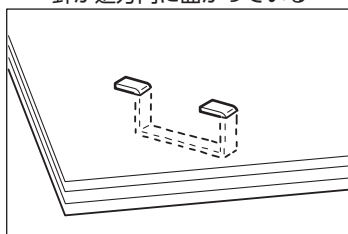


次のようにホチキス針が打たれているときは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

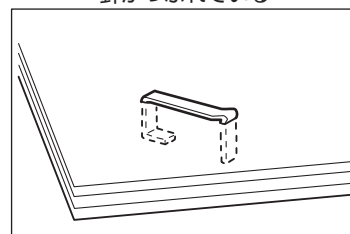
針の片側が浮いている



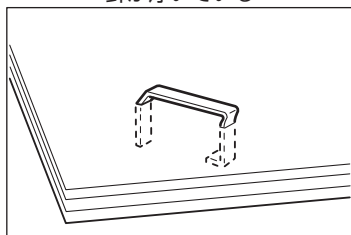
針が逆方向に曲がっている



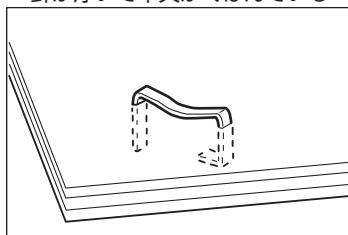
針がつぶれている



針が浮いている



針が浮いて中央がくぼんでいる



⚠ 注意

詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

補足

- 用紙の種類など使用条件によっては、ホチキス針が曲がって留められていたり、曲がったホチキス針がユニット内に引っかかったりして、紙詰まりの原因となることがあります。
- ホチキスカートリッジのカバーを開いた場合は、すべての曲がったホチキス針を必ず取り除いてください。曲がったホチキス針を取り除かないと、針詰まりの原因となります。ホチキスカートリッジのカバーは、詰まったホチキス針を取り除くときだけ開けてください。

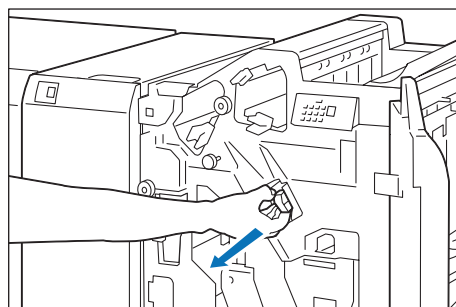
平とじ用ホチキスカートリッジ

1. 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。

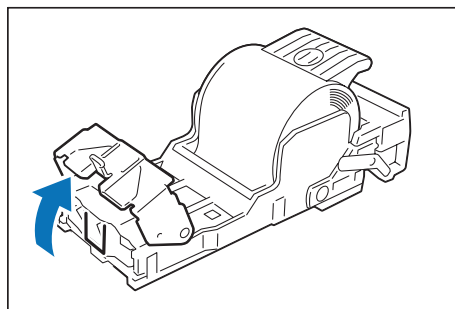
2. [R1] を引き出します。

補足

ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部にホチキス針がないか確認します。

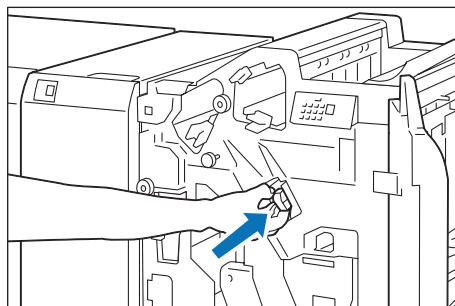


3. ユニットのカバーを開け、詰まっているホチキス針を取り除きます。



4. ユニットを元の位置に差し込みます。

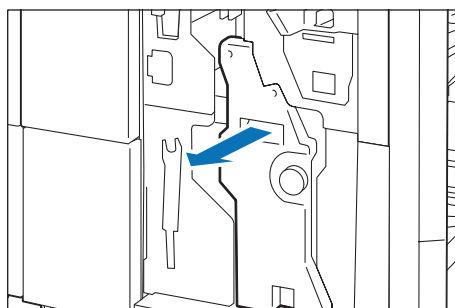
5. カバーを閉じます。



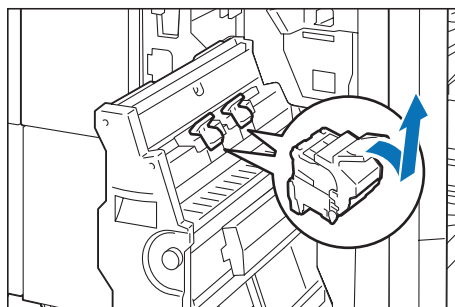
中とじ用ホチキスカートリッジ

1. 本機が停止していることを確認し、カバーを開けます。

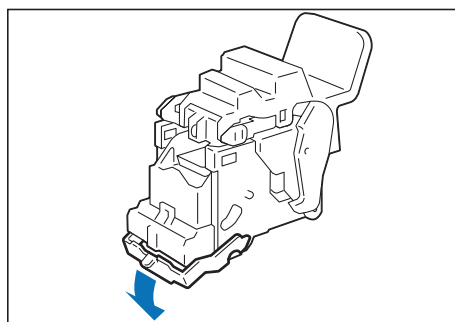
2. 中とじユニット [3] を引き出します。



3. ホチキスカートリッジ (R2) (R3) のレバーを持ち、そのまま引き抜きます。



4. 詰まっているホチキス針を取り除きます。



5. ホチキスカートリッジを元の位置に差し込みます。

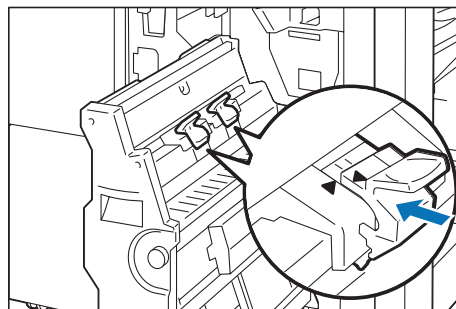
レバーを持ち、カチッと音がするまで軽く押し上げます。

補足

▲マークが合うようにします。

6. 中とじユニット [3] を押し込みます。

7. カバーを閉じます。



■ 平とじ用ホチキスカートリッジが外れたとき

操作時の落下などによって、ホチキスカートリッジがユニットから外れてしまったら、次の手順で処置します。

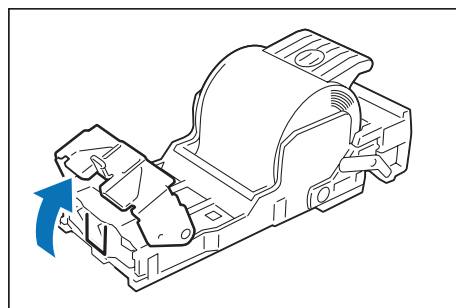
⚠ 注意

曲がったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

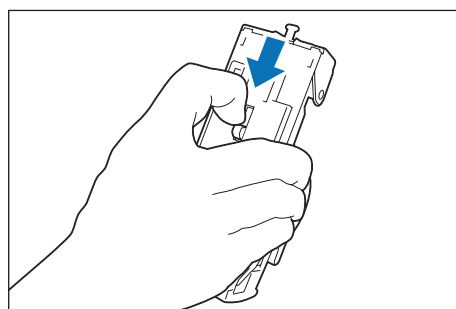
補足

ホチキスカートリッジがユニットから切り離されてしまったときも、同様に処置します。

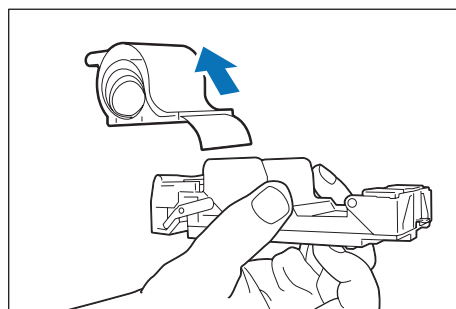
1. ユニットのカバーを開けて、曲がっているホチキス針をすべて取り除きます。



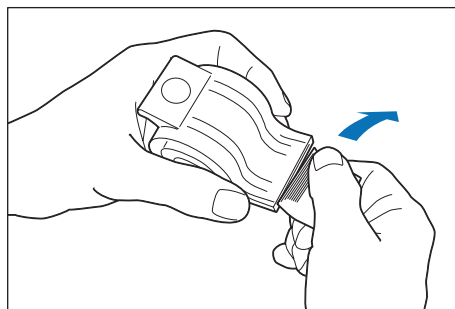
2. ユニットのうら面のレバーを矢印の方向に移動します。



3. レバーを移動したままおもて面を向け、ホチキスカートリッジをユニットから引き抜きます。



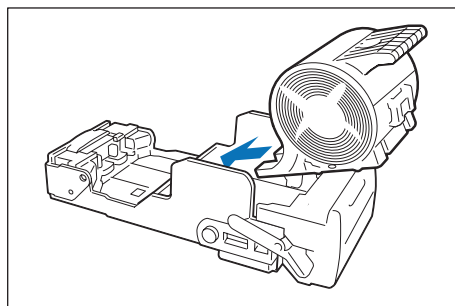
4. ホチキスカートリッジの外側に出ている部分のホチキス針を切り離します。



⚠ 注意

ホチキス針を切り離すときは、指などにケガをしないよう十分注意してください。

5. ホチキスカートリッジをユニットに差し込みます。



用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。優先装置ランプ（一番上）が点滅している場合は、最初に紙詰まりの処置を行ってください。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

フィニッシャー

1. カバーを開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

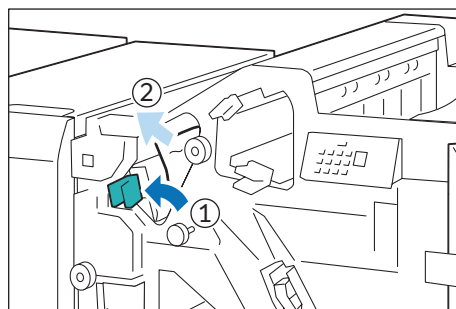
ランプE1が点灯したとき	P.79
ランプE2が点灯したとき	P.80
ランプE3が点灯したとき	P.80
ランプE4が点灯したとき	P.80
ランプE5が点灯したとき	P.80
ランプE6が点灯したとき	P.81

■ ランプE1が点灯したとき

- (1) レバー [1a] を左方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

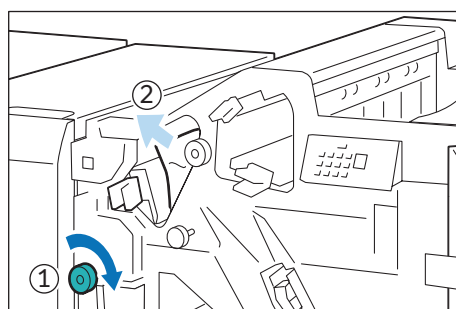
補足

用紙先端をつかんで取り除いてください。



- (2) 用紙が取りづらい場合は、ノブ [1b] を右方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

- (3) レバー [1a] を戻します。



.....

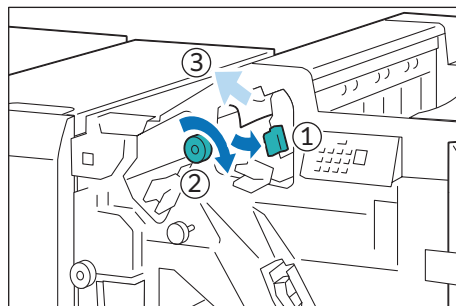
■ ランプE2が点灯したとき

- (1) レバー [1c] を右方向に開いて (①)、ノブ [1e] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

 補足

詰まった用紙が上部に隠れていることがあります。

- (2) レバー [1c] を戻します。

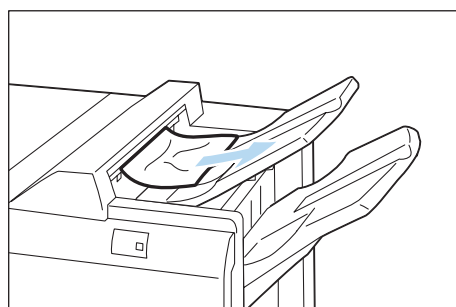


.....

■ ランプE3が点灯したとき

- (1) 排出トレイの排出口に詰まっている用紙を取り除きます。

- (2) カバーを開閉します。

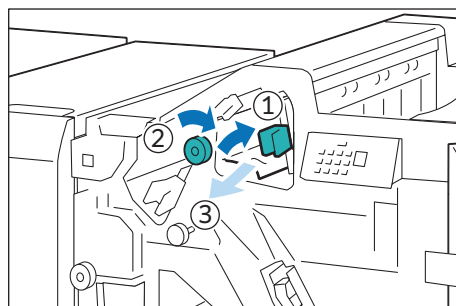


.....

■ ランプE4が点灯したとき

- (1) レバー [1d] を右方向に開いて (①)、ノブ [1e] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

- (2) レバー [1d] を戻します。

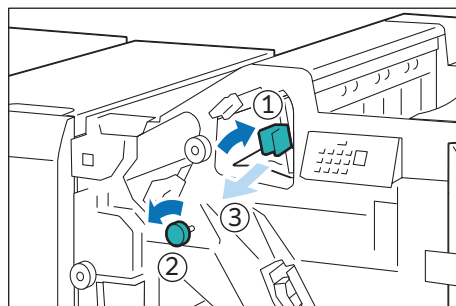


.....

■ ランプE5が点灯したとき

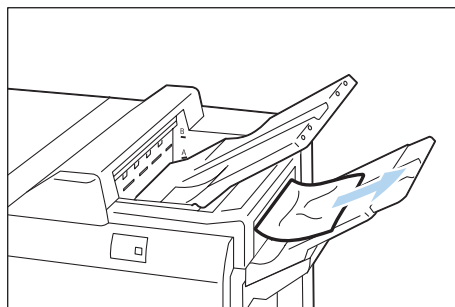
- (1) レバー [1d] を右方向に開いて (①)、ノブ [1f] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。

- (2) レバー [1d] を戻します。



■ ランプE6が点灯したとき

- (1) フィニッシャーレイの排出口に詰まっている用紙を取り除きます。
- (2) カバーを開閉します。



3. カバーを閉じます。
4. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

68 参照

「カール補正」(P.26)

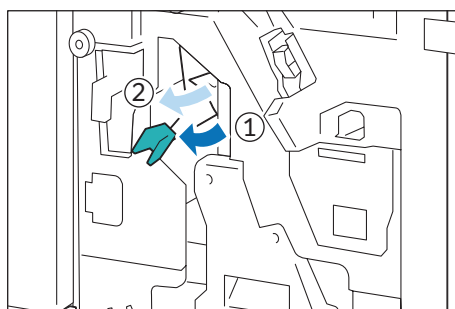
■ 中とじユニット

1. カバーを開けます。
2. 詰まっている用紙を取り除きます。

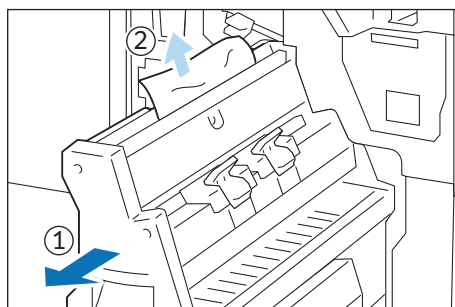
ランプE7が点灯したとき	P.81
ランプE8が点灯したとき	P.82
ランプE9が点灯したとき	P.82

■ ランプE7が点灯したとき

- (1) レバー [3a] を左方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。



- (2) 用紙が取りづらい場合は、中とじユニット [3] を引き出し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。
- (3) レバー [3a] を戻します。
- (4) 中とじユニット [3] を押し込みます。

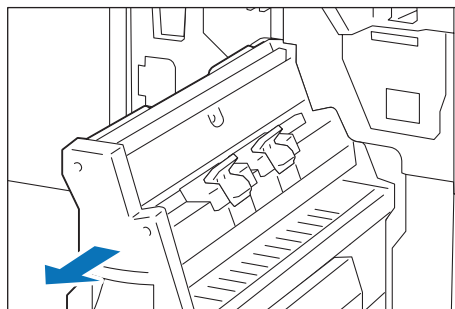


■ ランプE8が点灯したとき

- (1) 中とじユニット [3] を引き出します。

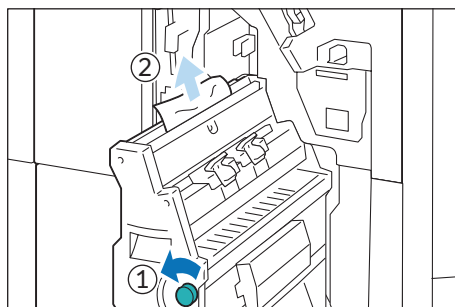
補足

引き出す前に、レバー [3a] に用紙が詰まっていることを確認してください。



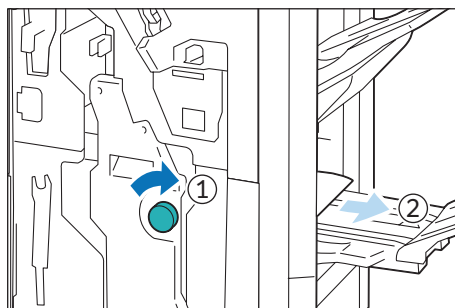
- (2) ノブ [3b] を左方向に回し (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

- (3) 中とじユニット [3] を押し込みます。



■ ランプE9が点灯したとき

- (1) ノブ [3b] を右方向に回し (①)、製本トレイに排出された用紙を取り除きます (②)。



3. カバーを閉じます。

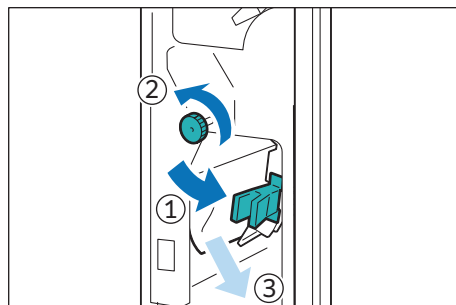
4. 詰まっていた用紙のカール方向を確認し、カール補正をします。

参照

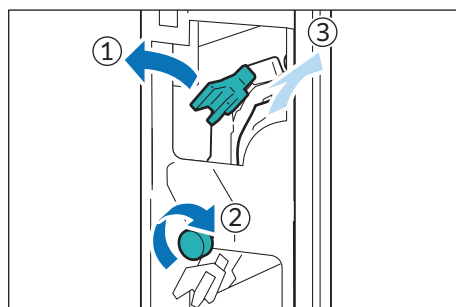
「カール補正」(P.26)

■ インターフェイスモジュール

1. カバーを開けます。
2. レバー [1a] を右方向に開いて (①)、ノブ [1c] を左方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
3. レバー [1a] を戻します。

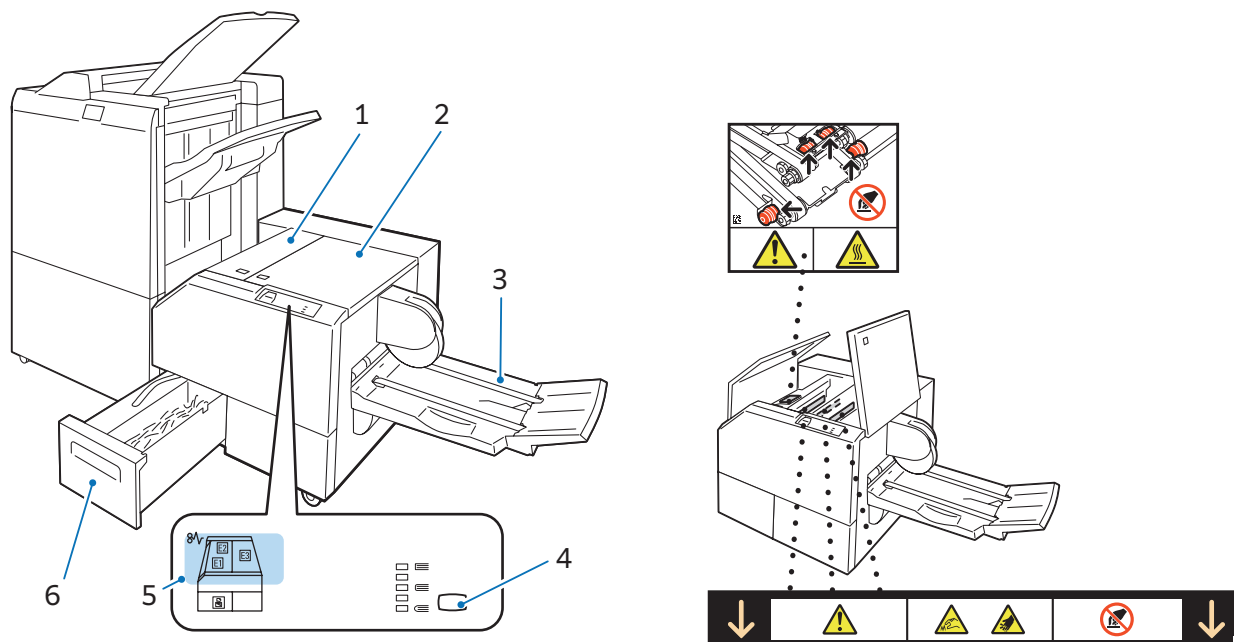


4. 用紙が取りづらい場合は、レバー [1b] を上方向に開いて (①)、ノブ [1c] を右方向に回し (②)、詰まっている用紙を取り除きます (③)。
5. レバー [1b] を戻します。
6. カバーを閉じます。



10 小口トリマーフォールダー

■各部の名称と働き/警告ラベルの位置



No.	名称	説明
1	左カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
2	右カバー	紙詰まりの処置をするときに、このカバーを開きます。
3	製本トレイ	用紙が排出されます。 補足 角背仕上げをすると、背と並行に細い押し痕がつきます。また、小口断裁をすると、小口と並行に細い押し痕がつくことがあります。 どちらも、押し痕は、冊子が厚いほど目立ちます。
4	背のつぶし強度調整ボタン	ボタンを押すと、製本した中とし冊子の背のふくらみを調整できます。ランプの点灯が上にいくほど、強度が強くなり、ランプの点灯が下にいくほど、強度が弱くなります。
5	エラーランプ	紙詰まりが発生すると、ランプが点灯します。
6	トリマーダストボックス	断裁した切りくずが入ります。

■ 主な仕様

項目	仕様		
用紙サイズ	フィニッシャーDの中とじ/二つ折りに準ずる。		
用紙坪量			
製本トレイ容量	20部（15枚とじ以下）、15部（16枚とじ以上）		
 補足 用紙の種類など使用条件によっては収容できないことがあります。			
小口断裁	最大枚数（枚）	中とじ	30
		二つ折り	5
	断裁寸法（mm）	2～20	
 補足 断裁後に放置すると、吸湿により用紙が伸びます。吸湿の程度は、用紙ごと（用紙種類、用紙坪量、合紙や表紙と本文、など）に異なるため、同じ寸法で断裁しても、用紙を揃えたときの断面がずれることがあります。			
角背仕上げ	最大枚数（枚）	中とじ	30
 補足 ・二つ折りと5枚未満の中とじは、角背仕上げはできません。 ・用紙種類、用紙坪量などによって処理可能枚数が減少します。			
電源	AC 100 V±10%、1 A、50/60 Hz共用		
最大消費電力	100 W		
大きさ（mm）	幅1,066×奥行725×高さ552		
質量（kg）	100		

補足

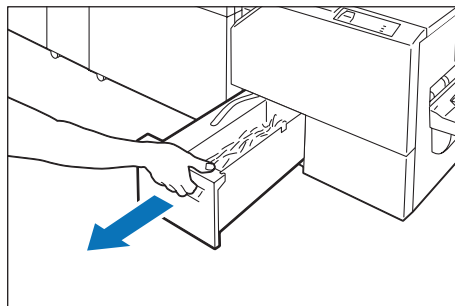
断裁幅は2 mm以上にしてください。2 mm未満の切りくずは、冊子に貼りついたり、機械内部に散乱して、紙づまりの原因となります。

ダストボックス

補足

切りくずを捨てるときは、電源が入った状態で行ってください。

1. 本機が停止していることを確認し、ダストボックスを引き出します。

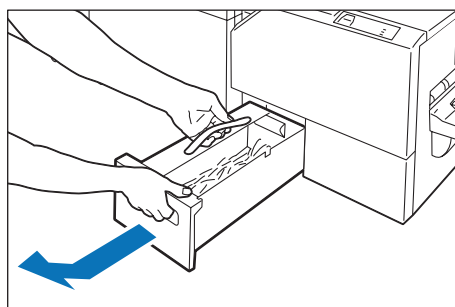


2. ダストボックスのベルトを持ち、両手で引き抜きます。

補足

ベルトが切れるおそれがあるので、片手で振り回すなど、ベルトに過度な力をかけないでください。

3. 切りくずをすべて捨てます。



⚠ 注意

切りくずを手で拾わないでください。切り欠き部で、ケガをするおそれがあります。

4. ダストボックスを元の位置に差し込みます。

用紙が詰まった場合

補足

装置上部のエラーランプが点灯します。

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。画面の指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

補足

紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。

1. 詰まっている用紙を取り除きます。

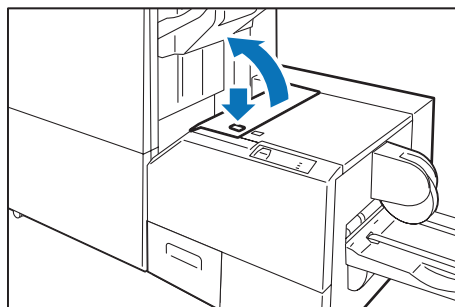
ランプE1が点灯したとき	P.87
ランプE2が点灯したとき	P.88
ランプE3が点灯したとき	P.88

補足

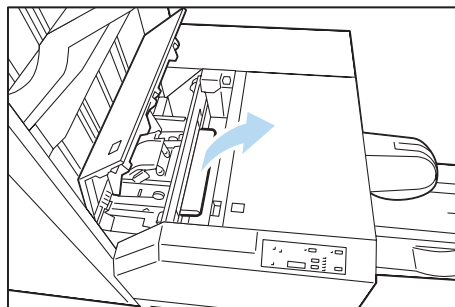
左右のカバーは同時に開けることはできません。片側のカバー内の用紙を取り除いて、カバーを閉じたあと、もう片側のカバーを開けてください。

■ ランプE1が点灯したとき

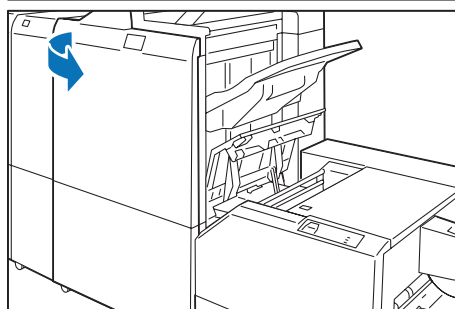
(1) 左カバーを開けます。



(2) 詰まっている用紙を取り除きます。

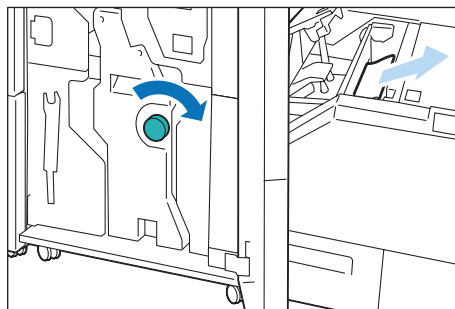


(3) 用紙が取りづらい場合は、フィニッシャーのカバーを開けます。



(4) ノブ [3b] を右方向に回し、用紙を取り除きます。

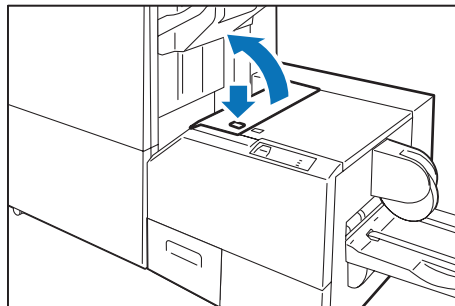
(5) 左カバーを閉じます。



.....

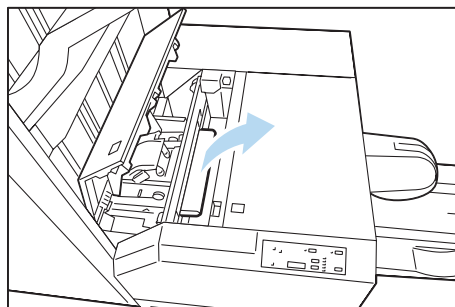
■ ランプE2が点灯したとき

(1) 左カバーを開けます。



(2) 詰まっている用紙を取り除きます。

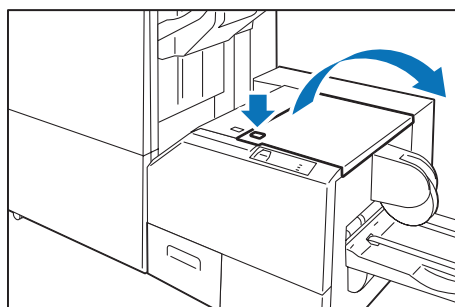
(3) 左カバーを閉じます。



.....

■ ランプE3が点灯したとき

(1) 右カバーを開けます。



(2) 詰まっている用紙を取り除きます。

(3) 右カバーを閉じます。

